

登録数一部位別 <2017年>

登録数は、男性は3,890件、女性は2,937件で合計は6,827件となる。

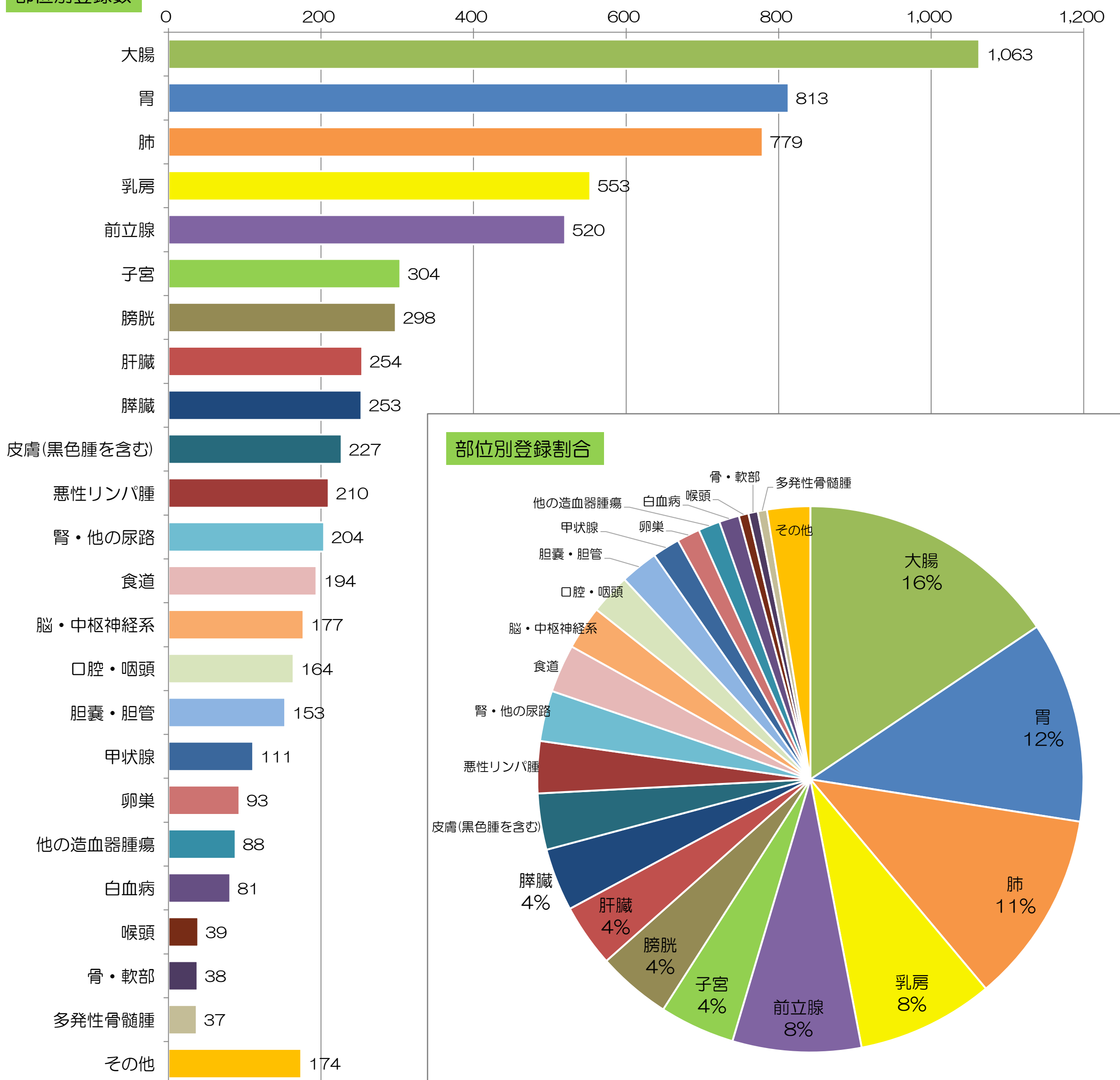
部位別には、男性では、大腸が最も多く623件、次いで胃が581件、肺が530件、前立腺が520件、膀胱223件、女性では、乳房が最も多く549件、次いで大腸が440件、子宮が304件、肺が249件、胃が232件の順となる。

男女別割合は、男性が57%、女性が43%で、脳・中枢神経系、甲状腺以外のほとんどの部位で男性が多い。

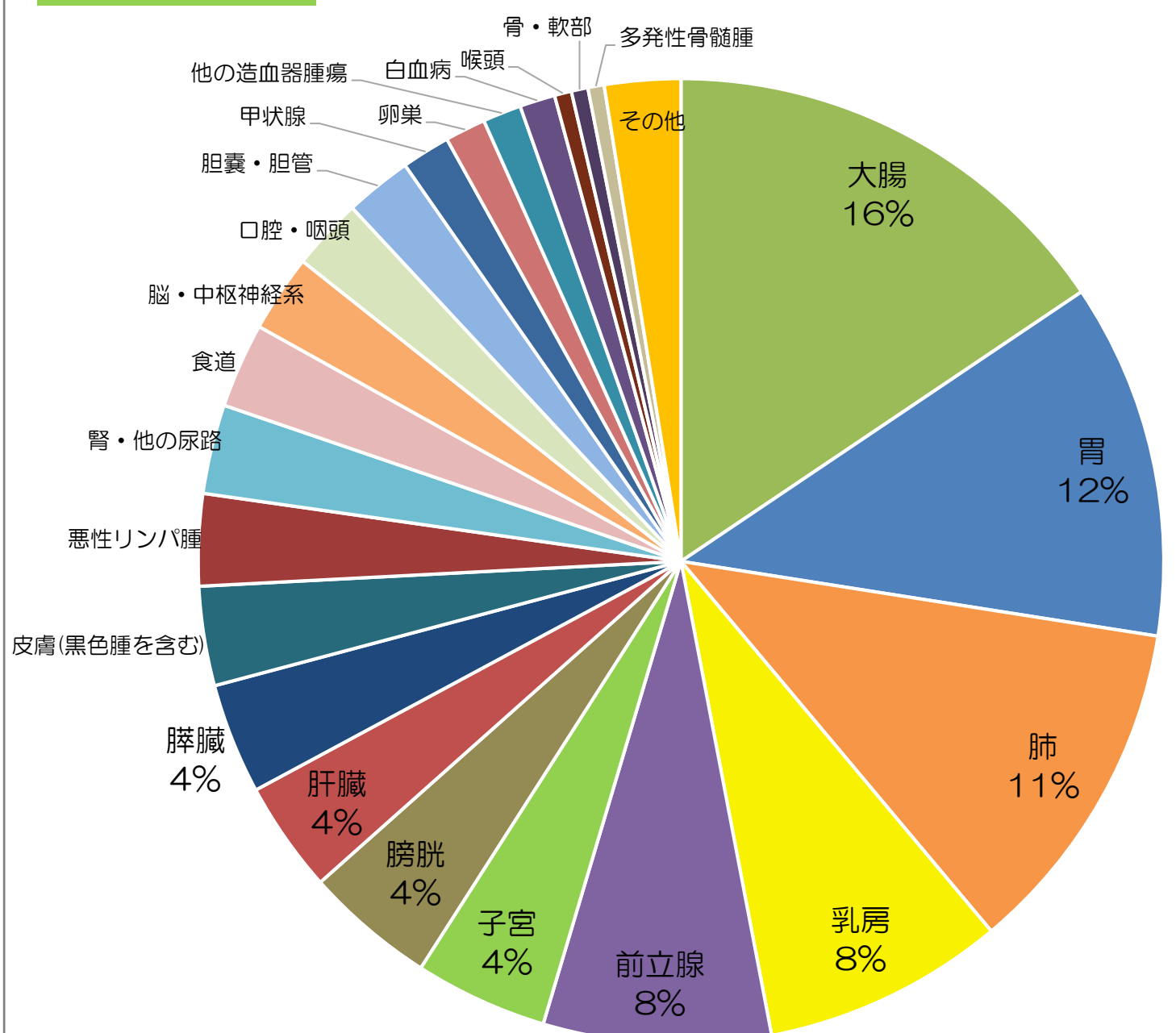
男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も多く6倍、次いで口腔・咽頭、膀胱が3倍、胃、肝臓、肺、腎・他の尿路などが2倍強である。

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	喉頭	肺	骨・軟部	皮膚(黒色腫を含む)	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の造血器腫瘍	その他	合計
男性	121	167	581	623	173	79	139	37	530	23	112	(4-6)	-	-	520	223	138	62	30	109	19	54	53	93	3,890
女性	43	27	232	440	81	74	114	(1-3)	249	15	115	549	304	93	-	75	66	115	81	101	18	27	35	81	2,937
合計	164	194	813	1,063	254	153	253	39	779	38	227	553	304	93	520	298	204	177	111	210	37	81	88	174	6,827

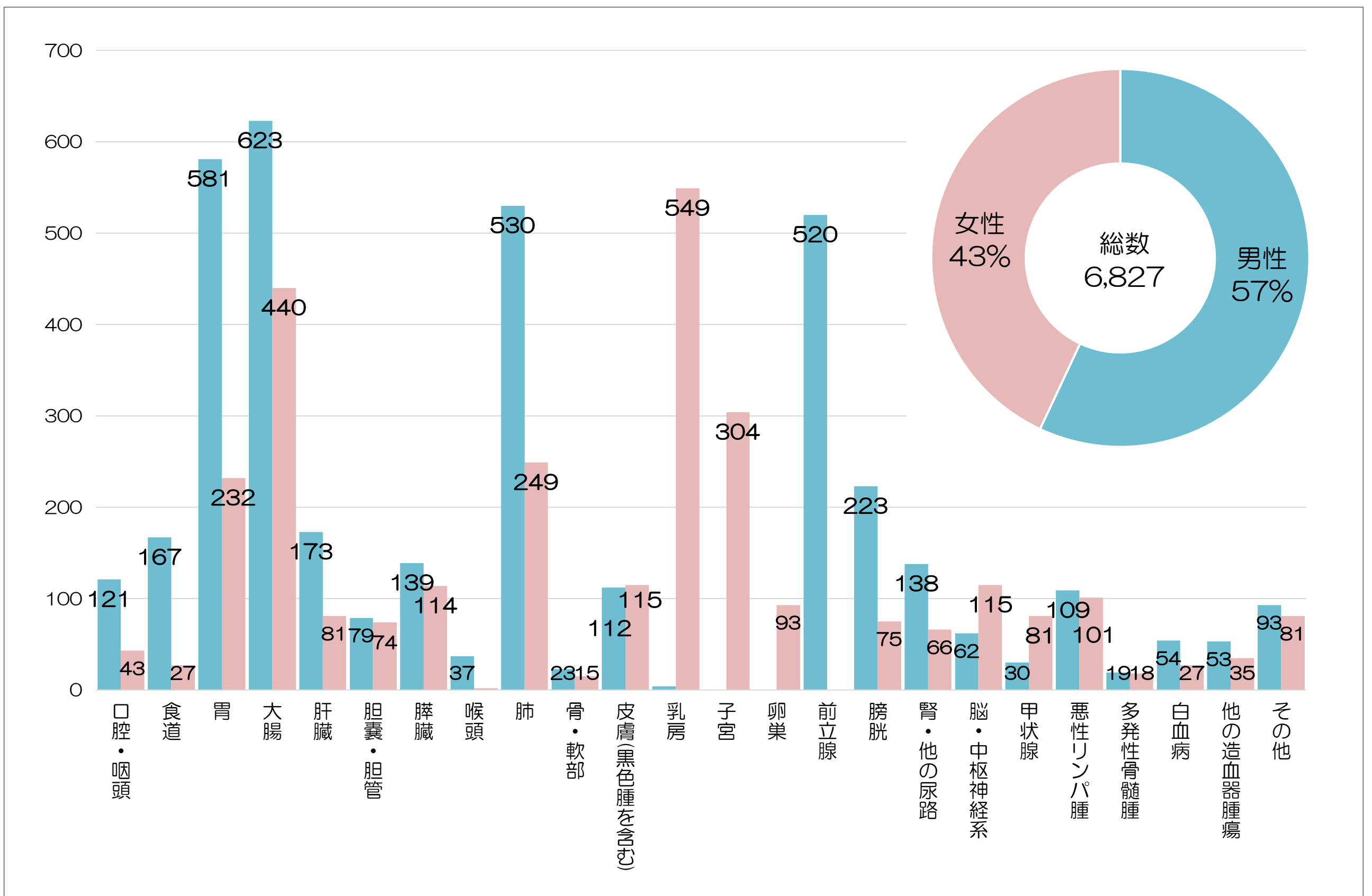
部位別登録数



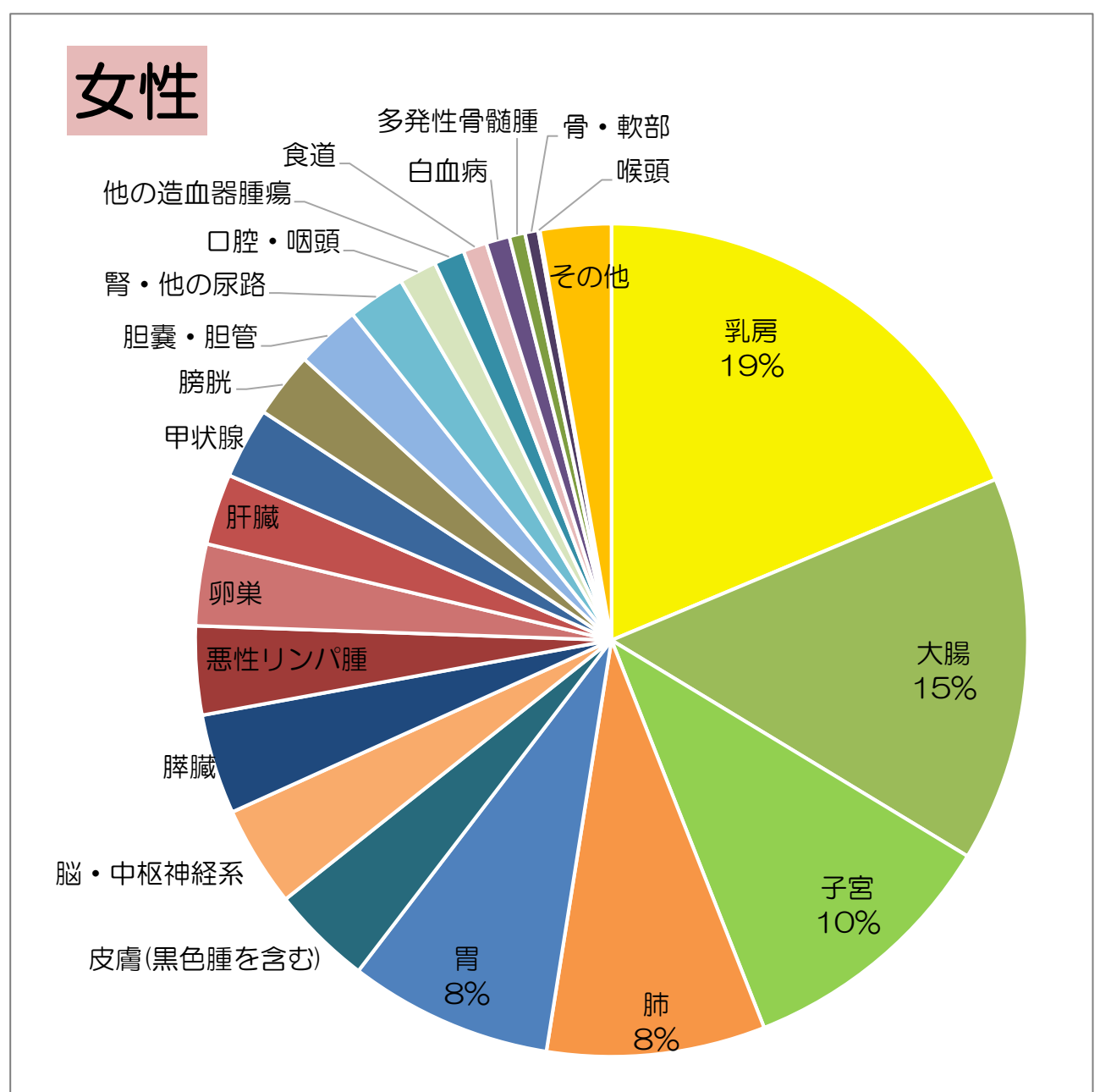
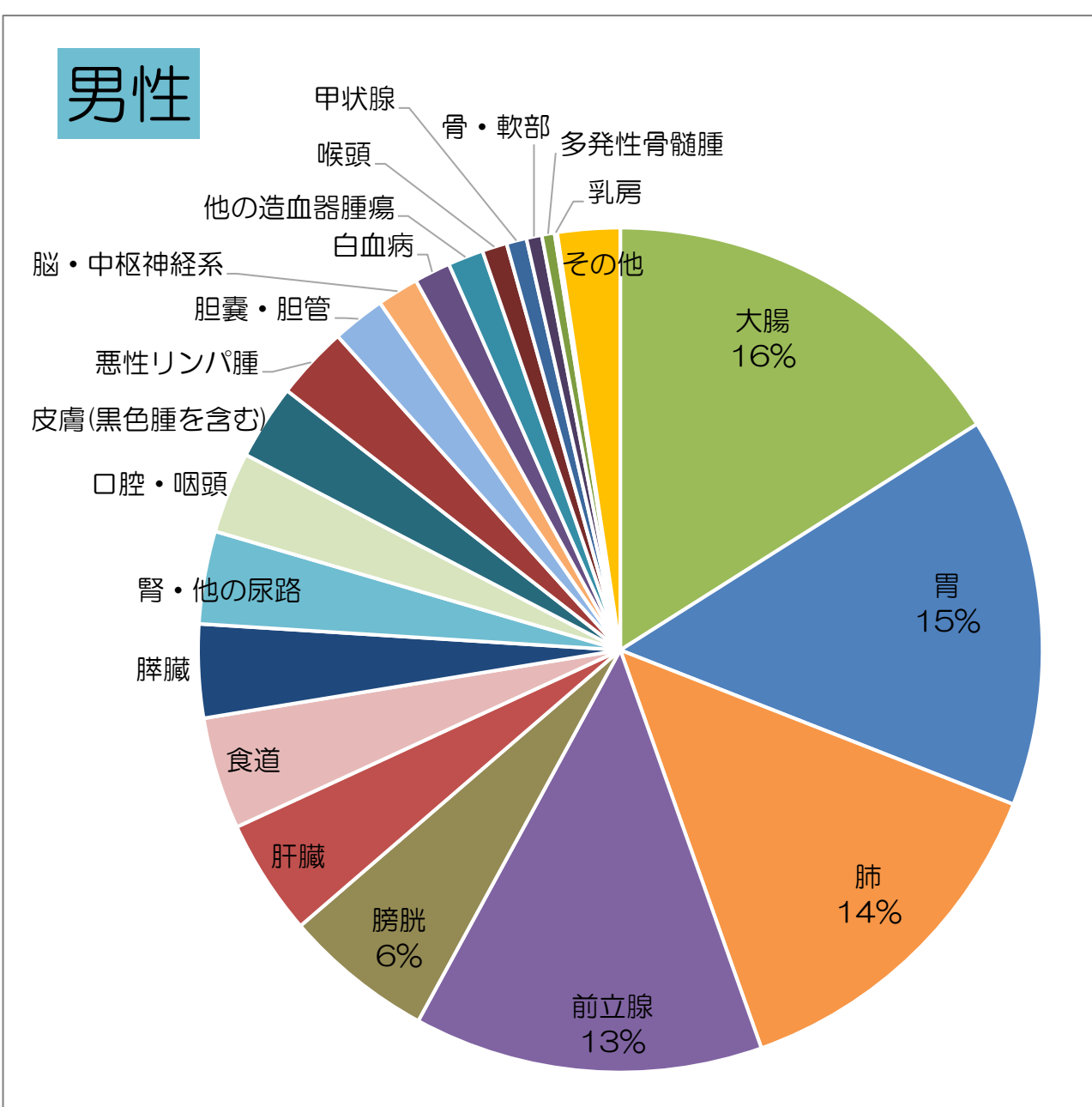
部位別登録割合



登録数一部位別【男女別】 <2017年>



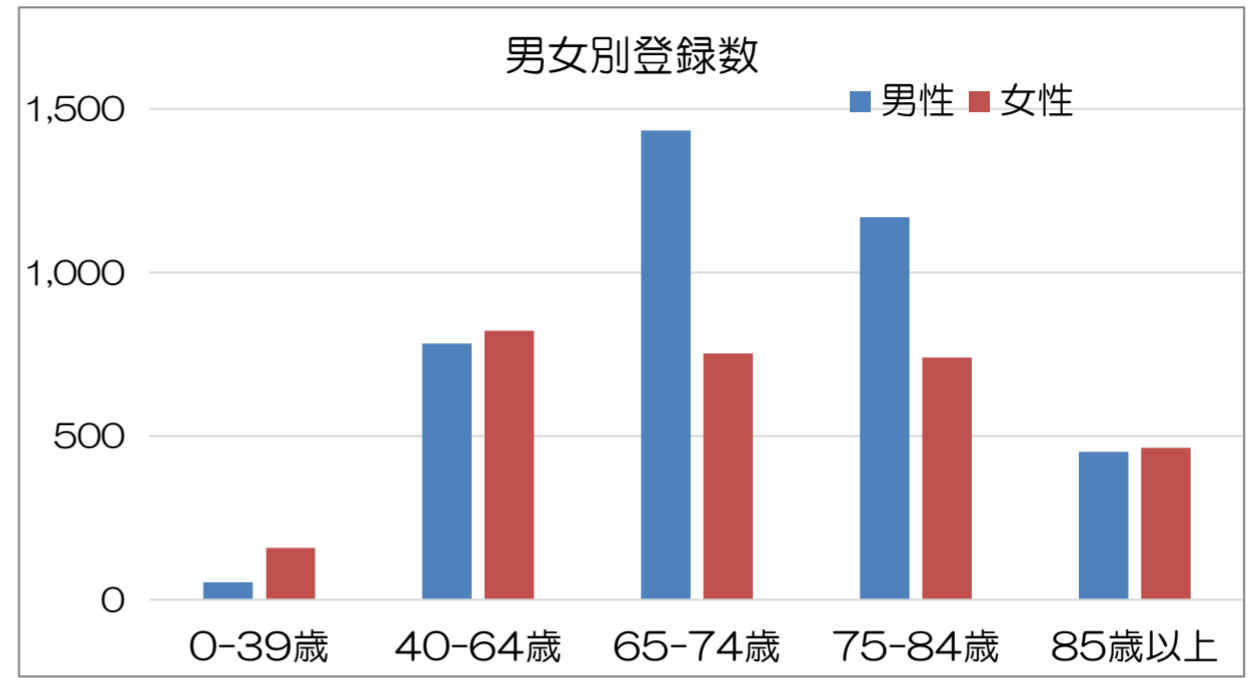
部位別登録割合【男女別】 <2017年>



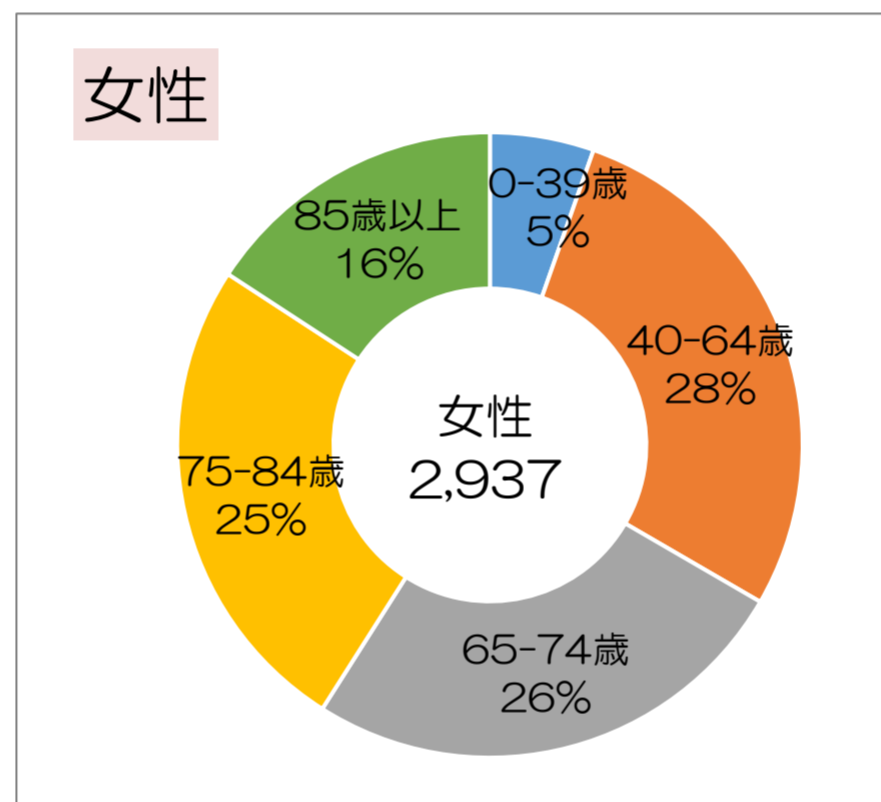
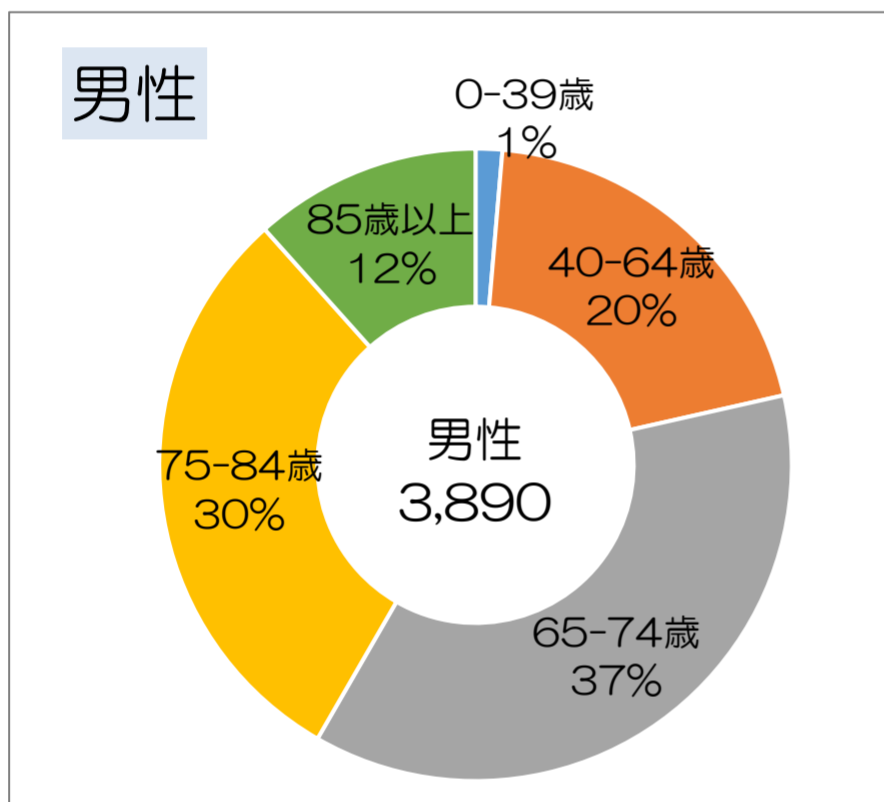
登録数—年齢階級別【男女別】〈2017年〉

年齢階級別には、男性では、65-74歳にピークが見られる。女性では、40-64歳が最も多く、次いで65-74歳、75-84歳の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性が80%弱、女性が約70%を占める。
 部位別には、0-39歳の男性では、多い順に脳・中枢神経系、白血病、女性では、子宮、乳房、40-64歳の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65-74歳の男性では、大腸、前立腺、肺、胃、女性では、乳房、大腸、75-84歳の男性では、前立腺、胃、女性では、大腸、乳房、85歳以上では、男性は胃、女性は大腸である。

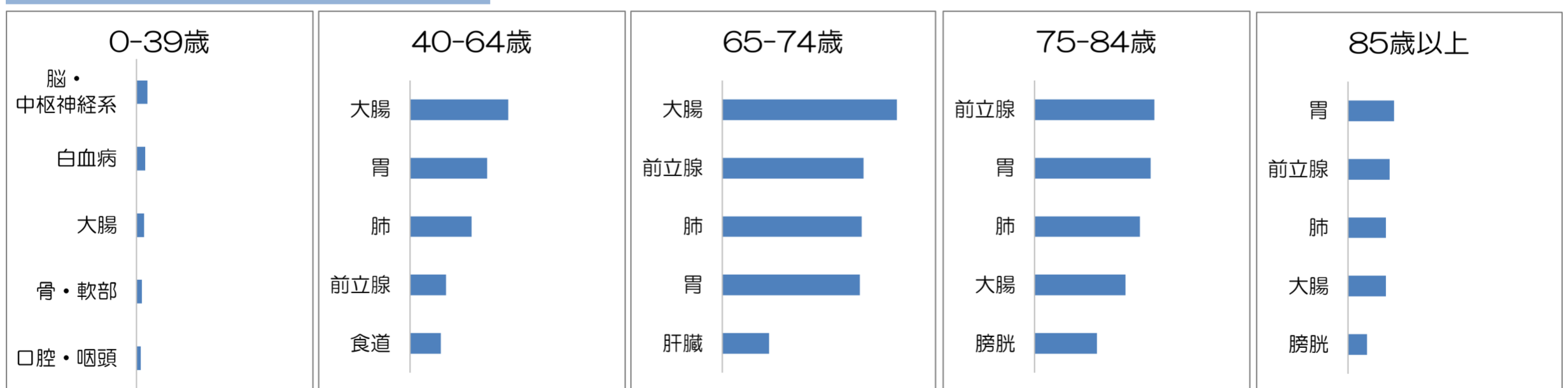
年齢階級別	登録数		
	男性	女性	合計
0-39歳	53	158	211
40-64歳	782	822	1,604
65-74歳	1,434	753	2,187
75-84歳	1,169	740	1,909
85歳以上	452	464	916
合計	3,890	2,937	6,827



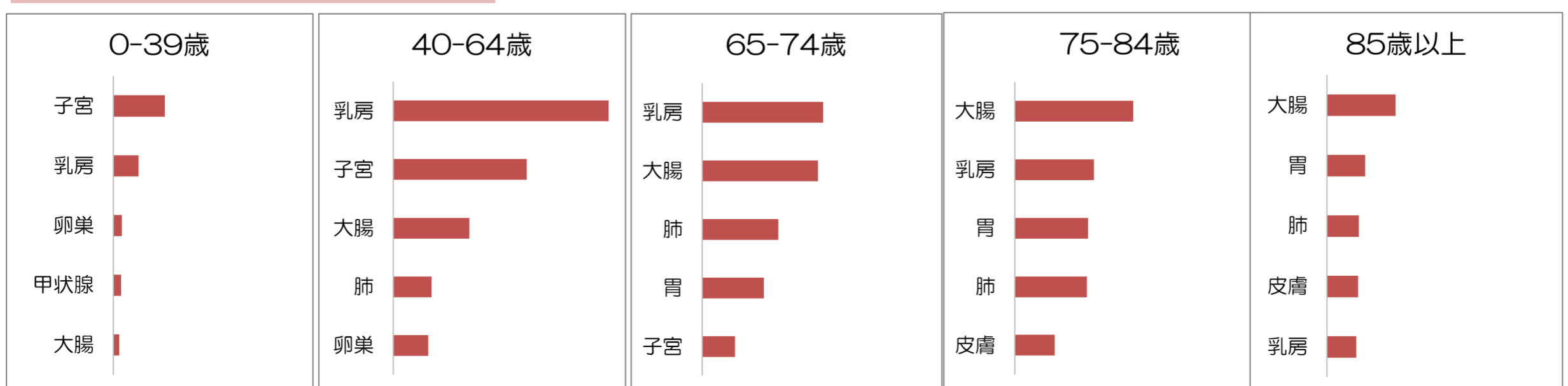
年齢階級別登録割合



年齢階級別登録数の上位5部位—男性



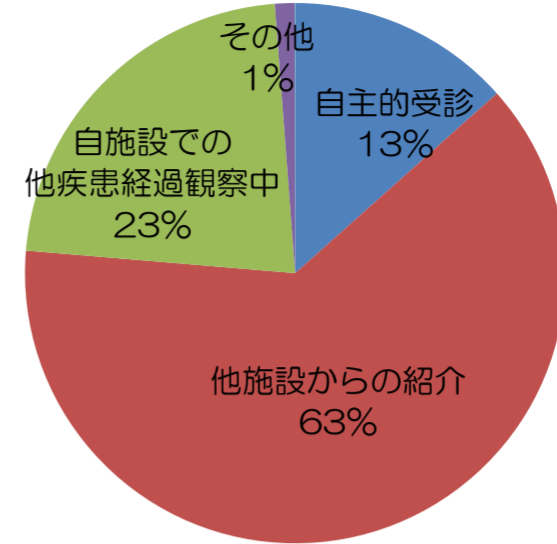
年齢階級別登録数の上位5部位—女性



来院経路別登録数 <2017年>

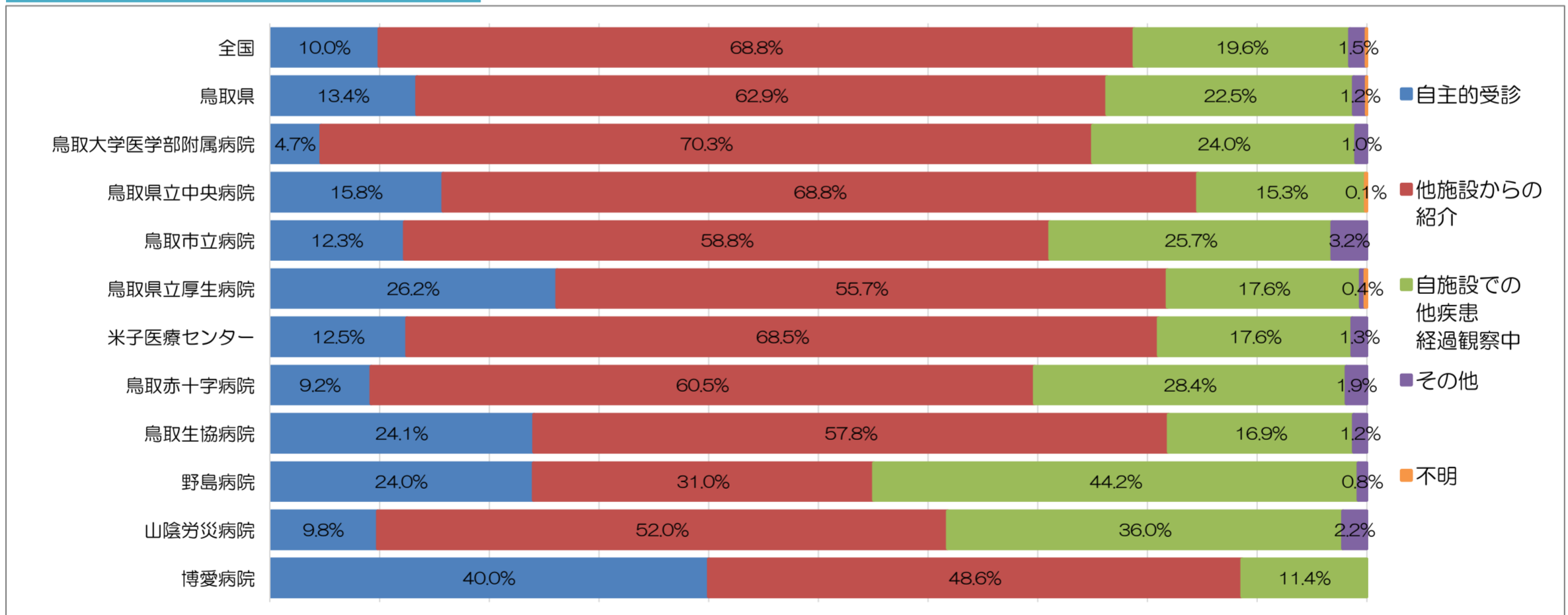
来院経路別には、「他施設からの紹介」が6割強を占めて最も多く、次いで「自施設で他疾患経過観察中」が23%、「自主的受診」は13%と少ない。
 全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少ない。施設別には、「自主的受診」は博愛病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院で最も多い。
 部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は前立腺が最も多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）

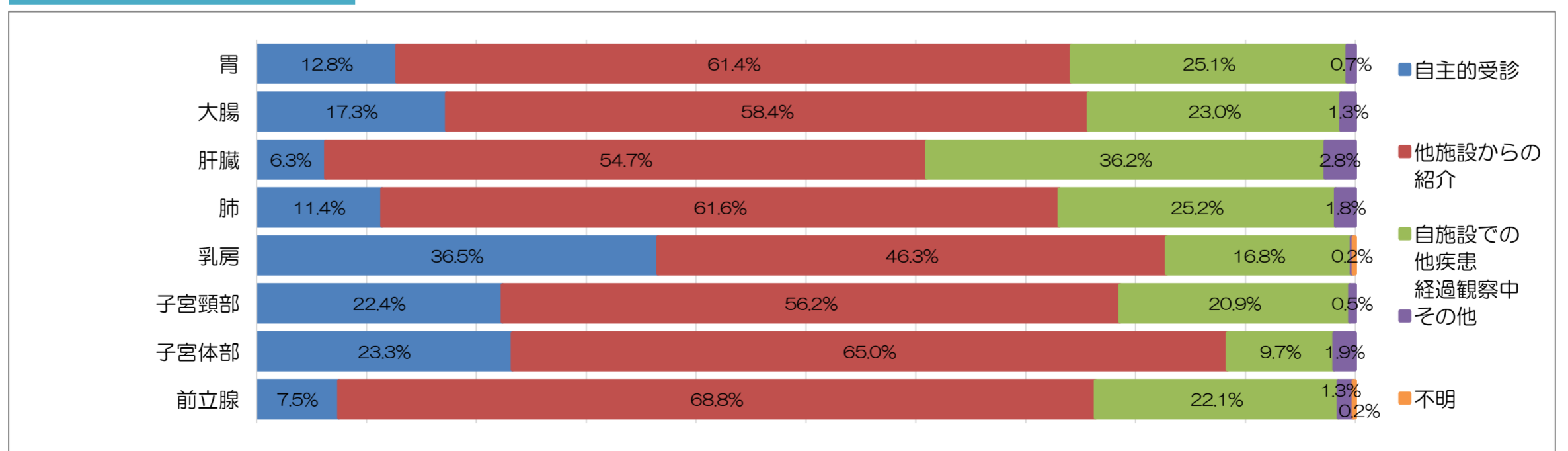


	自主的受診	他施設からの紹介	自施設での他疾患経過観察中	その他	不明	合計
全国	99,054	683,898	195,016	15,102	341	993,411
鳥取県	916	4,295	1,534	80	(1-3)	6,827
鳥取大学医学部附属病院	90	1,353	462	19	-	1,924
鳥取県立中央病院	151	657	146	-	(1-3)	955
鳥取市立病院	78	373	163	20	-	634
鳥取県立厚生病院	183	389	123	(1-3)	(1-3)	699
米子医療センター	93	509	131	10	-	743
鳥取赤十字病院	69	451	212	14	-	746
鳥取生協病院	60	144	42	(1-3)	-	249
野島病院	31	40	57	(1-3)	-	129
山陰労災病院	45	238	165	10	-	458
博愛病院	116	141	33	-	-	290

来院経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



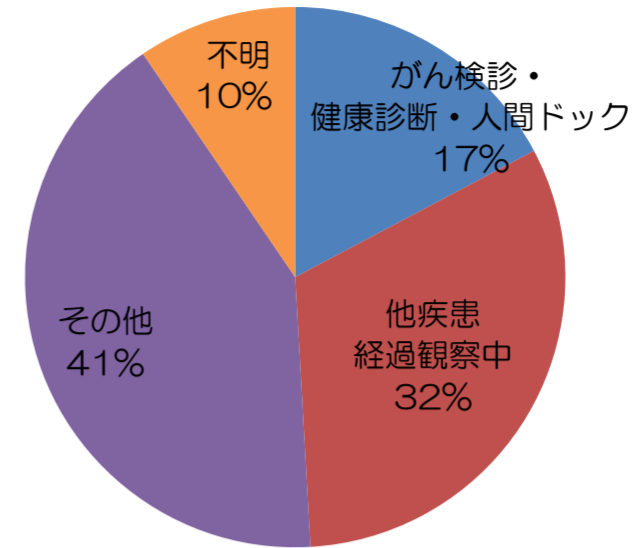
来院経路別登録割合（主要部位）



発見経路別登録数 <2017年>

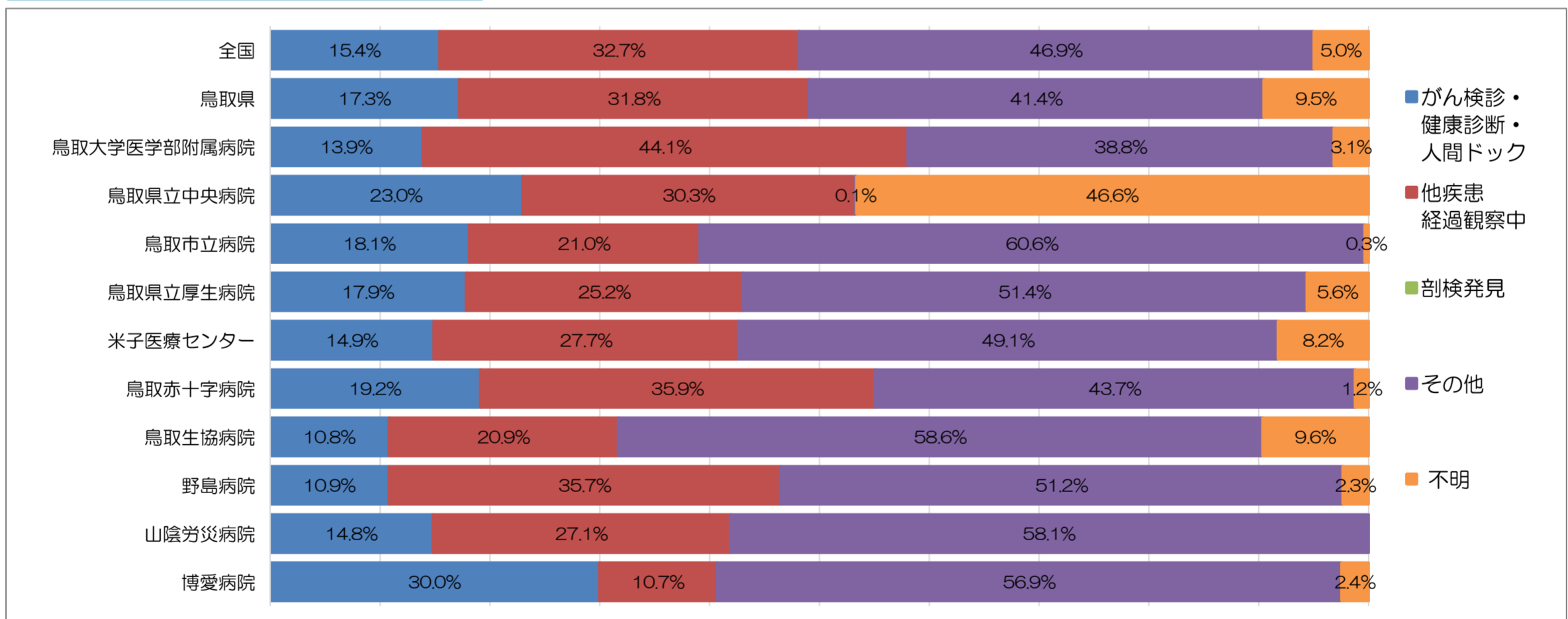
発見経路別には、「他疾患の経過観察中」が32%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は17%と少ない。
 なお、「その他」と「不明」で半数以上を占めるので、実際にはそれ以上の割合になることが予測される。
 全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は鳥取県が全国より2%多く、施設別には博愛病院が最も多い。
 部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部、胃、乳房、大腸、前立腺の順で多く、「他疾患の経過観察中」は肝臓が61.4%と最も多い。

発見経路別登録割合（鳥取県）

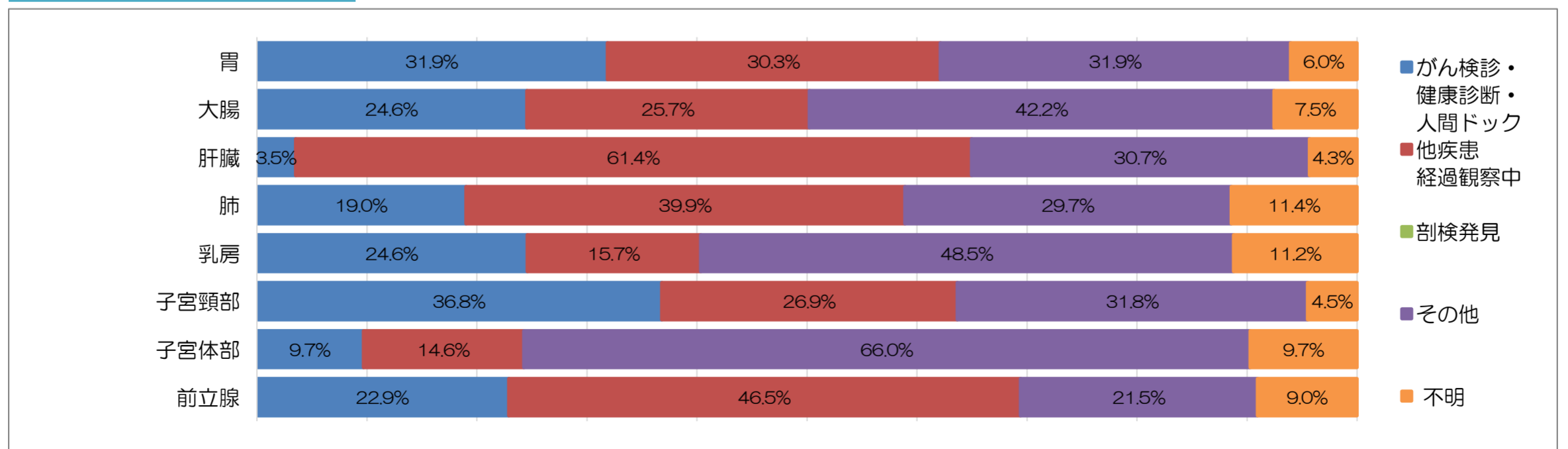


	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	合計
全国	153,441	324,752	77	465,786	49,355	993,411
鳥取県	1,178	2,174	-	2,825	650	6,827
鳥取大学医学部附属病院	268	849	-	747	60	1,924
鳥取県立中央病院	220	289	-	(1-3)	445	955
鳥取市立病院	115	133	-	384	(1-3)	634
鳥取県立厚生病院	125	176	-	359	39	699
米子医療センター	111	206	-	365	61	743
鳥取赤十字病院	143	268	-	326	(7-9)	746
鳥取生協病院	27	52	-	146	24	249
野島病院	14	46	-	66	(1-3)	129
山陰労災病院	68	124	-	266	-	458
博愛病院	87	31	-	165	(7-9)	290

発見経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



発見経路別登録割合（主要部位）

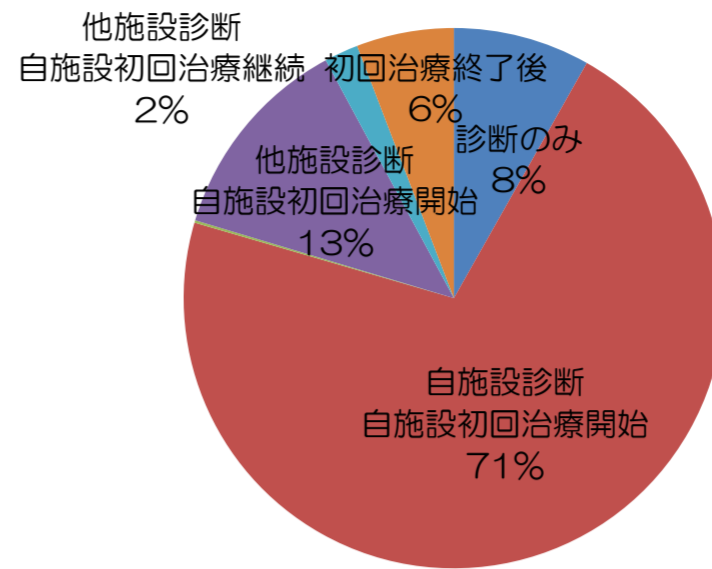


症例区分別登録数 <2017年>

症例区分別には、「診断のみ」は8%で、ほとんどは「自施設初回治療」（71%）、「他施設診断自施設初回治療」は13%である。全国比較では、鳥取県は「自施設初回治療開始」が多く、「他施設診断初回治療」と「初回治療終了後」の割合は少ない。

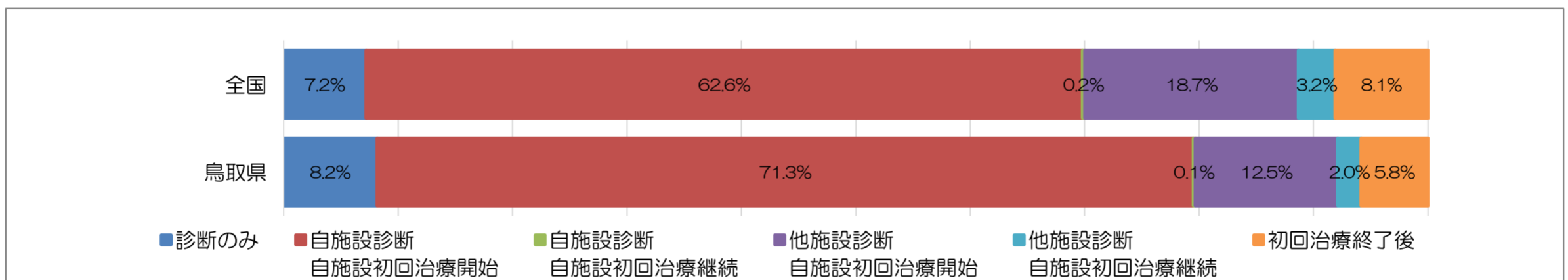
施設別には、「診断のみ」は博愛病院、山陰労災病院など準拠点病院で高く、拠点病院で低い。特に鳥取大学医学部附属病院では2.9%で最も低く、「他施設診断初回治療」は25.9%で最も高い。他方「初回治療終了後」は、鳥取生協病院の21.7%、米子医療センターの18.3%が顕著に高い。

症例区分別登録割合（鳥取県）

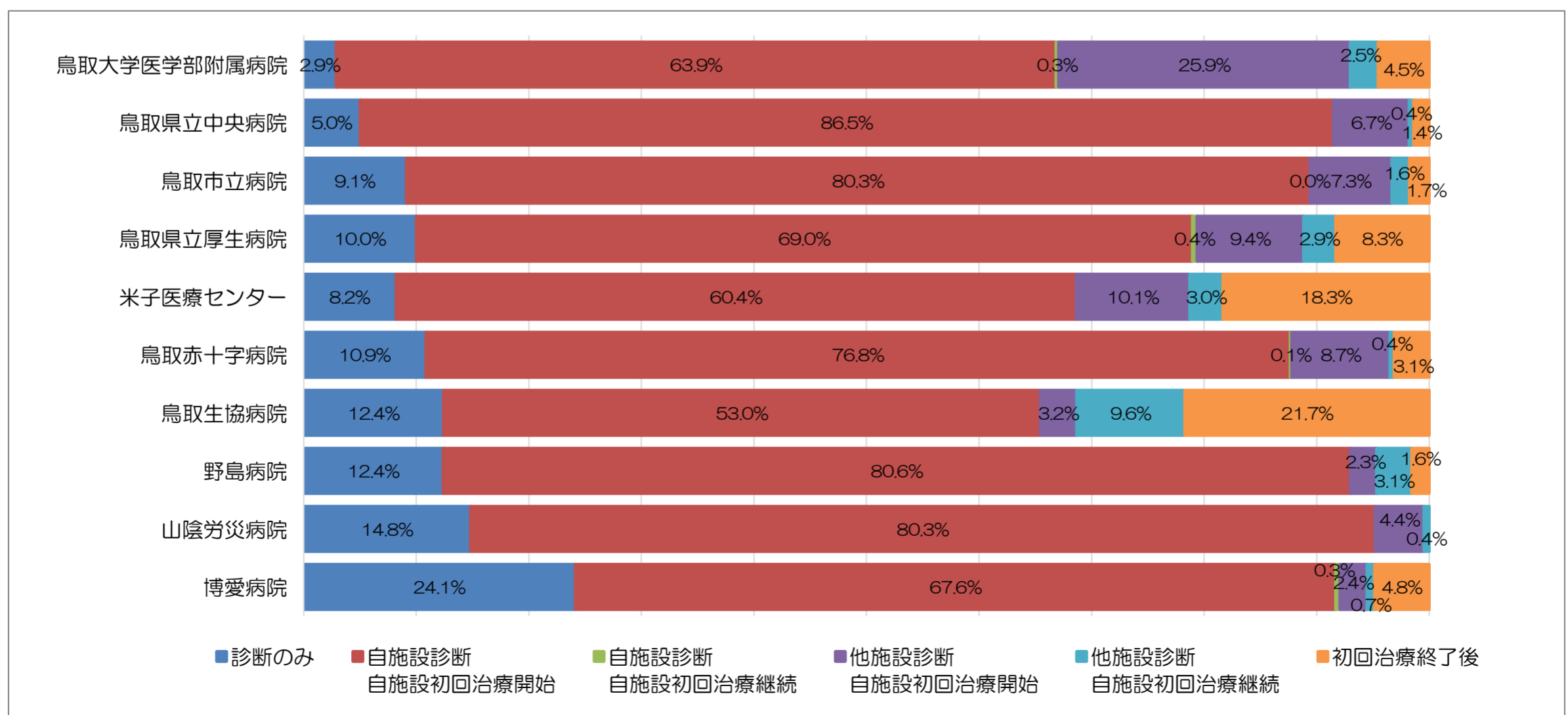


	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療終了後	合計
全国	71,533	622,121	1,770	185,619	31,710	80,658	993,411
鳥取県	559	4,869	10	852	139	398	6,827
鳥取大学医学部附属病院	56	1,230	(4-6)	498	48	87	1,924
鳥取県立中央病院	48	826	-	64	(4-6)	13	955
鳥取市立病院	58	509	-	46	10	11	634
鳥取県立厚生病院	70	482	(1-3)	66	20	58	699
米子医療センター	61	449	-	75	22	136	743
鳥取赤十字病院	81	573	(1-3)	65	(1-3)	23	746
鳥取生協病院	31	132	-	(7-9)	24	54	249
野島病院	16	104	-	(1-3)	(4-6)	(1-3)	129
山陰労災病院	68	368	-	20	(1-3)	-	458
博愛病院	70	196	(1-3)	(7-9)	(1-3)	14	290

症例区分別登録割合（全国・鳥取県）



症例区分別登録割合（施設別）



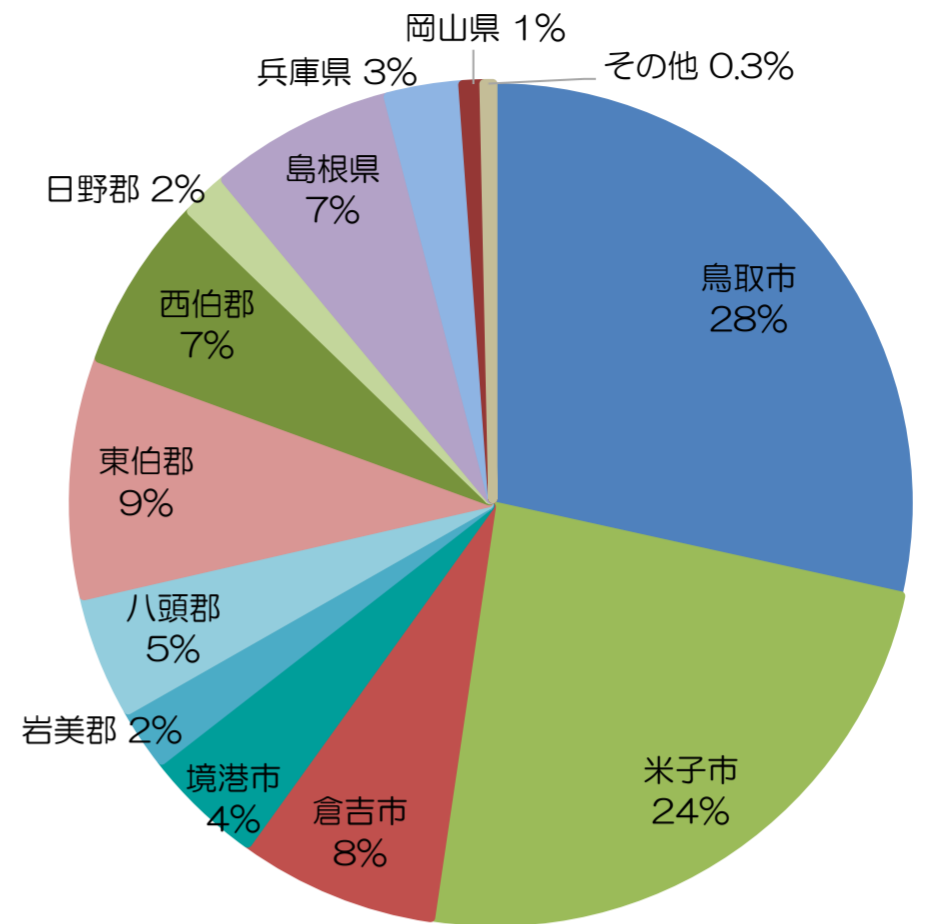
診断時住所別登録数 <2017年>

診断時住所別には、鳥取県内では、鳥取市が最も多く28%、次いで米子市の24%で、両市で半数の52%を占める。東伯郡が9%、倉吉市の8%、西伯郡の7%、八頭郡の5%、境港市の4%、岩美郡、日野郡の2%の順で続く。県外住所では、島根県が7%、兵庫県が3%、岡山県が1%を占める。

施設別には東部では、鳥取県立中央病院の955件、次いで鳥取赤十字病院の746件、鳥取市立病院の634件、鳥取生協病院の249件である。中部では、鳥取県立厚生病院の699件、野島病院の129件、西部では、鳥取大学医学部附属病院の1,924件が最も多く、次いで米子医療センターの743件、山陰労災病院の458件、博愛病院の290件である。

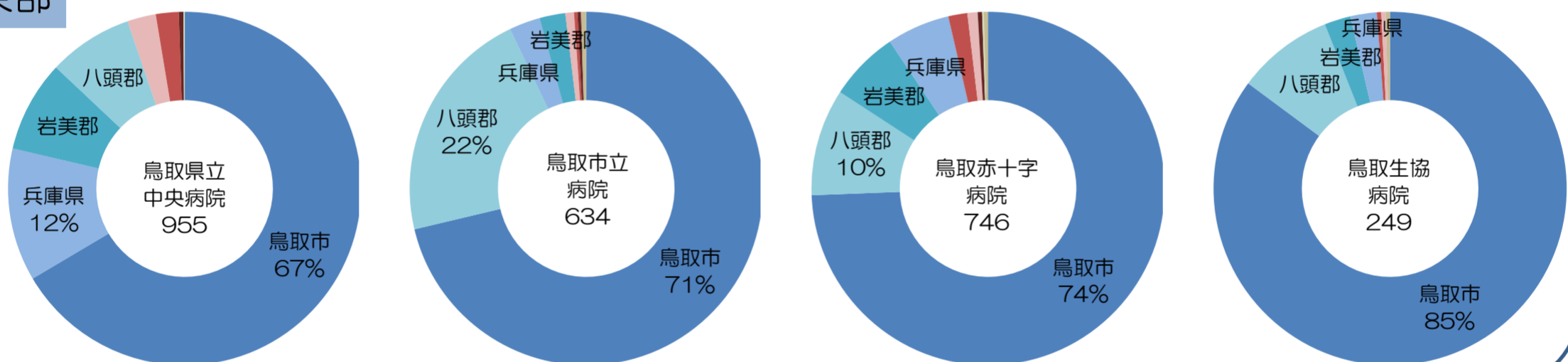
とりわけ、鳥取大学医学部附属病院は、米子市をはじめとする西部地域の診断時住所が大半であったが、島根県が19%、東伯郡、倉吉市、鳥取市など地域外からの患者が38.2%でほぼ40%を占めるのが注目される。

診断時住所別登録割合(鳥取県全体)

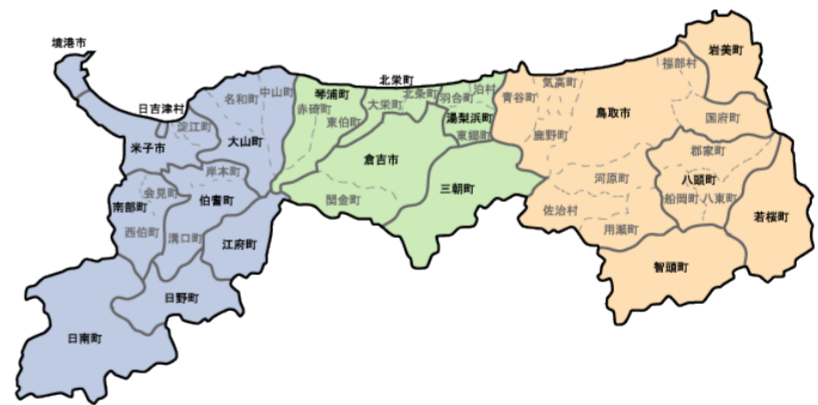
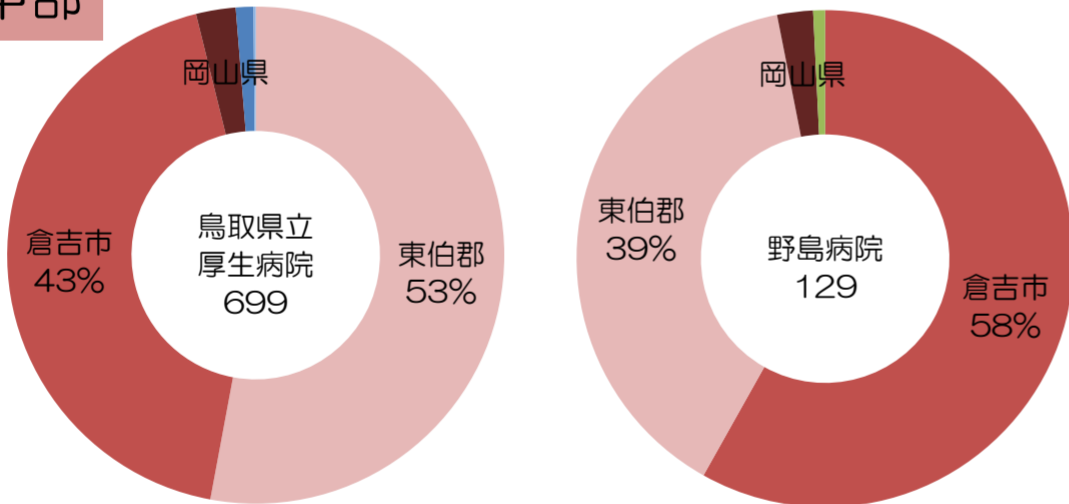


鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美郡	八頭郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	島根県	兵庫県	岡山県	その他	合計
1,943	1,630	518	311	156	317	626	454	119	478	197	55	23	6,827

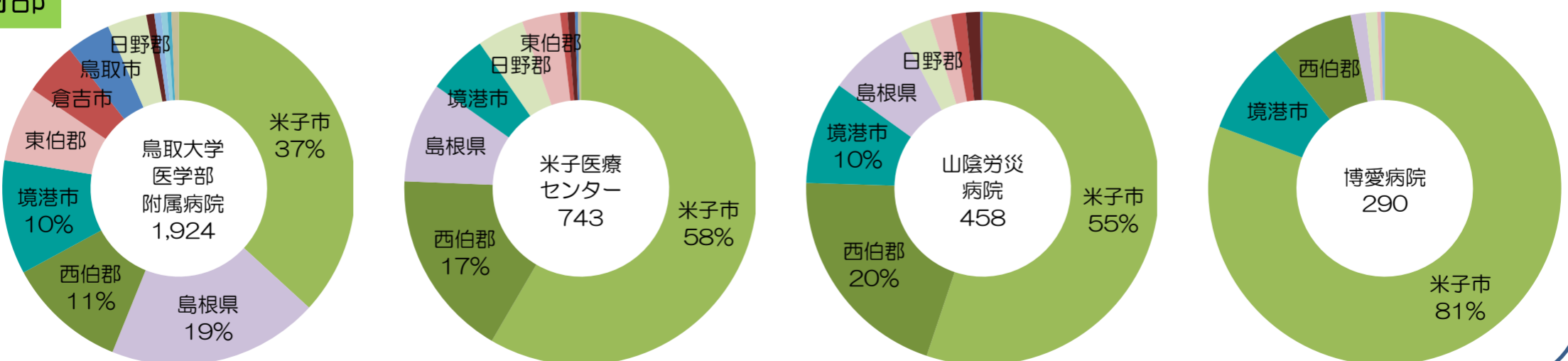
東部



中部



西部

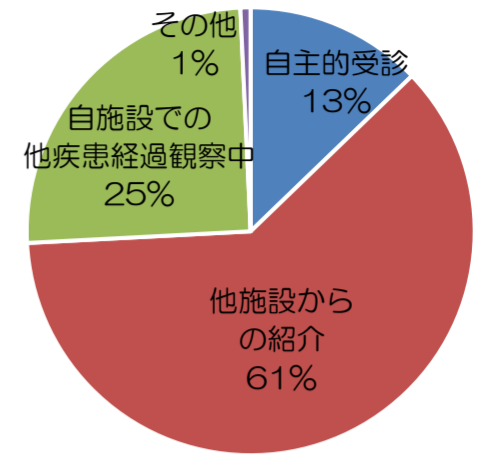


■鳥取市 ■米子市 ■倉吉市 ■境港市 ■岩美郡 ■八頭郡 ■東伯郡 ■西伯郡 ■日野郡 ■島根県 ■兵庫県 ■岡山県 ■その他

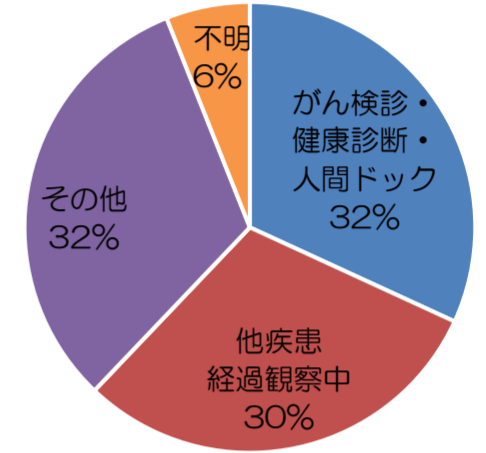
一胃(2017)

胃がんは、男性581件、女性232件で総数は813件、男性が女性の約3倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割前後を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、その割合は全国、鳥取県ともに6割強を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅲ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

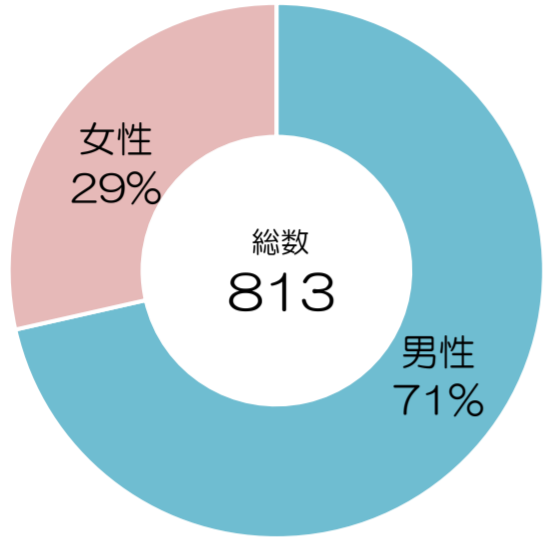
来院経路



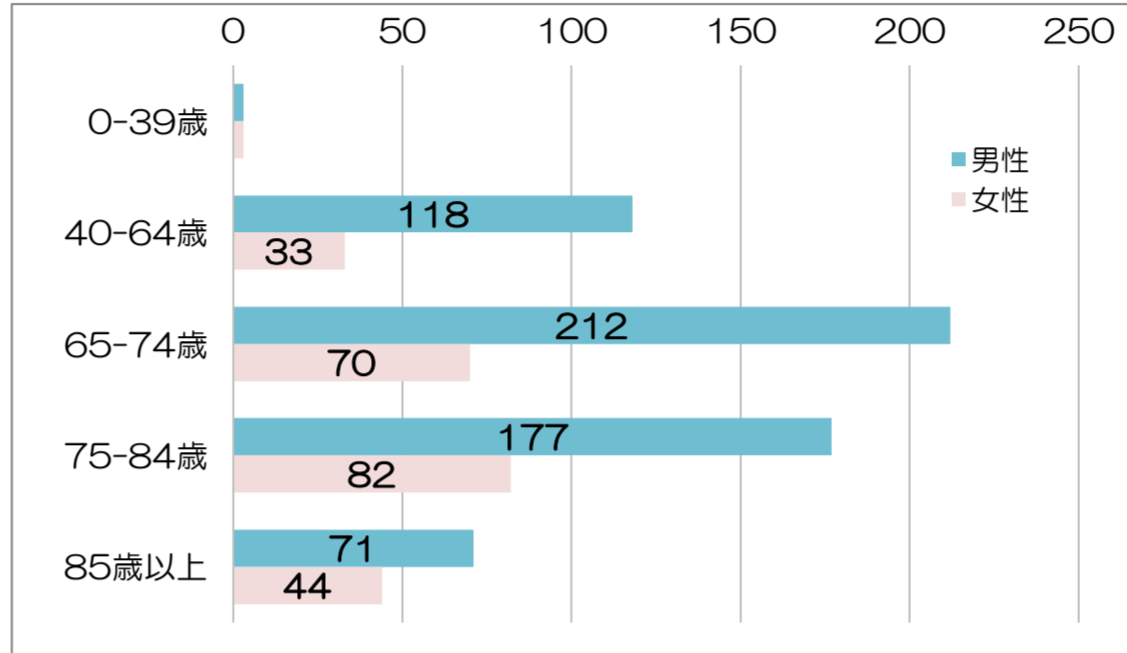
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

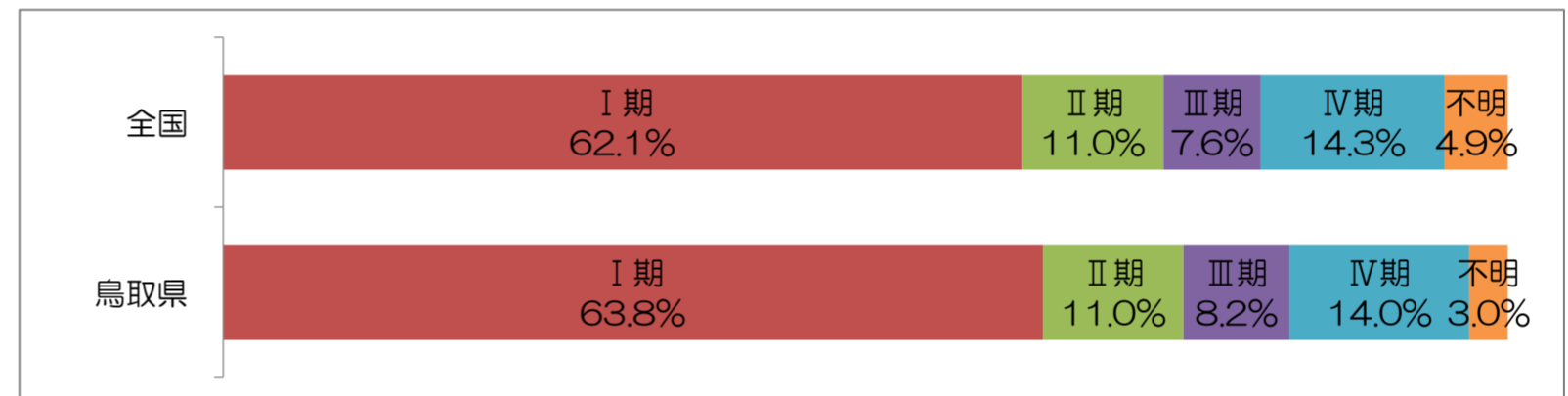


治療前ステージ別登録数

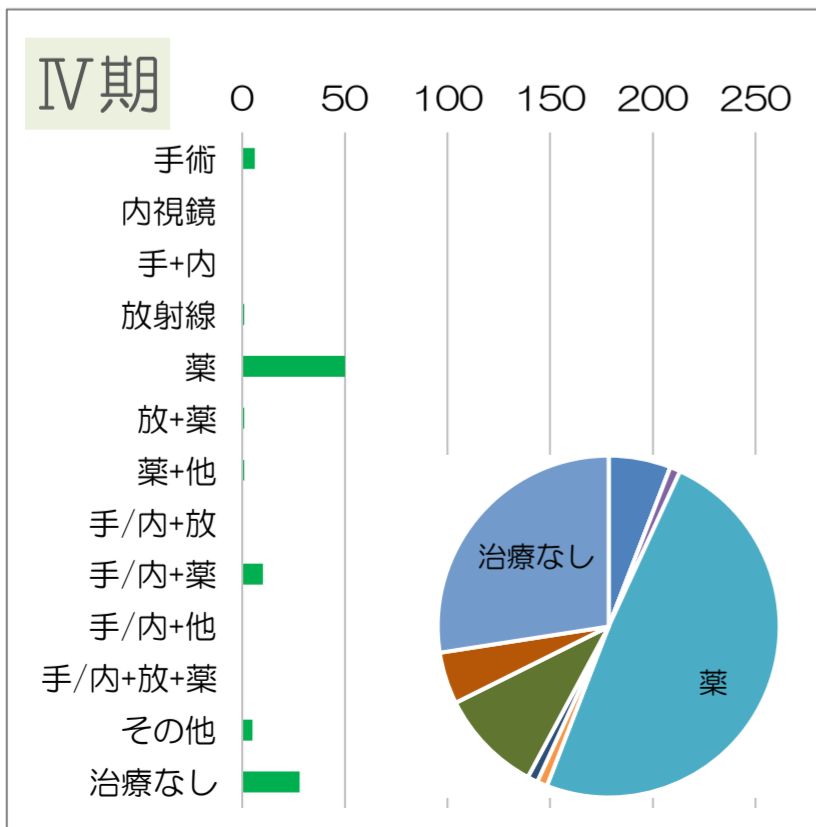
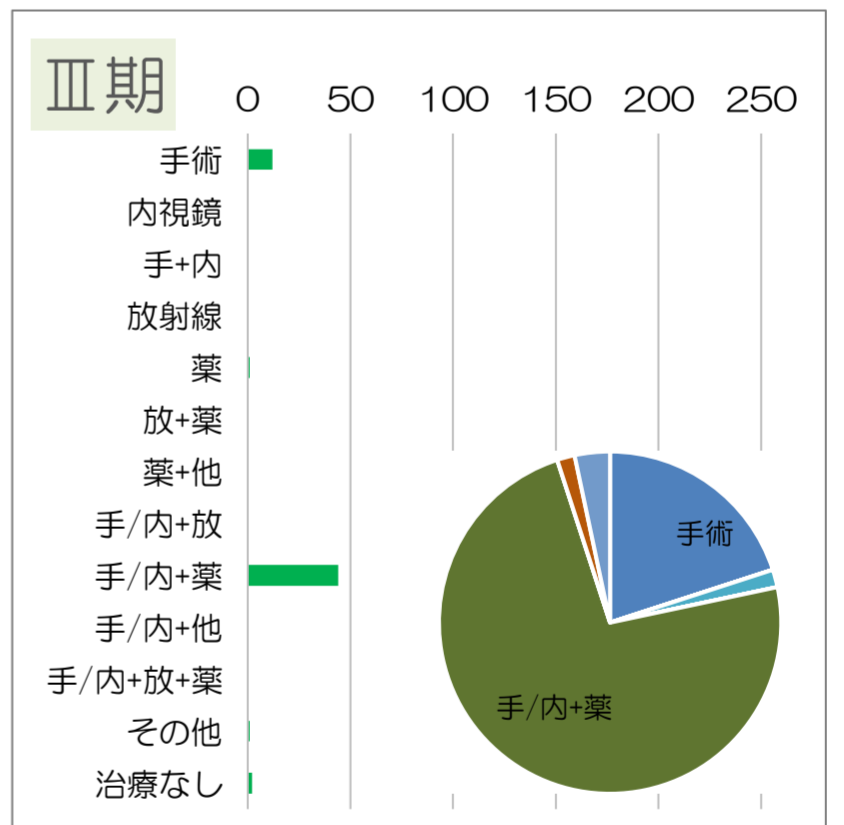
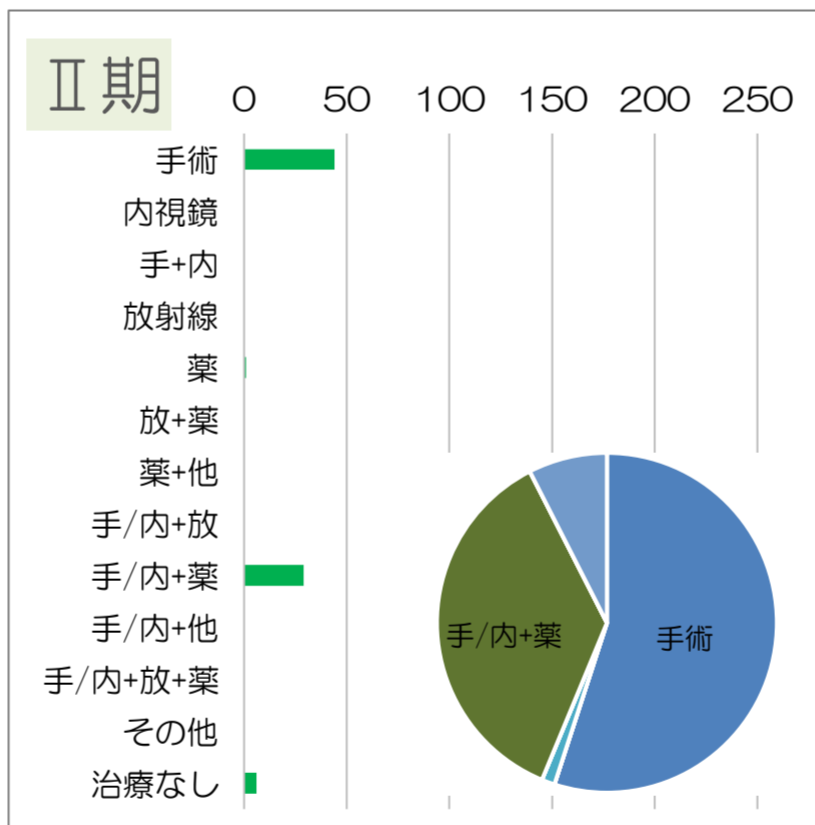
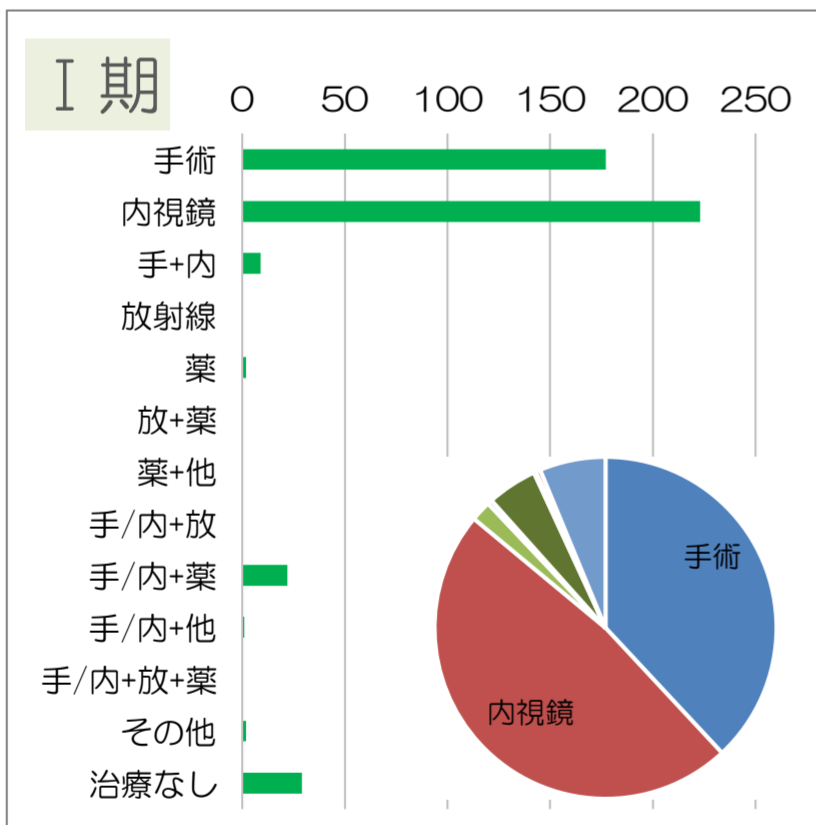
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
465	80	60	102	22	729

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



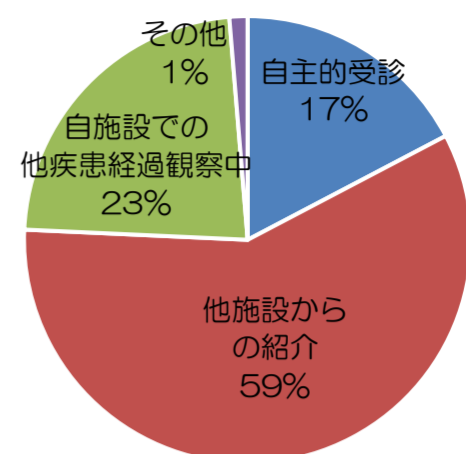
ステージ別治療方法



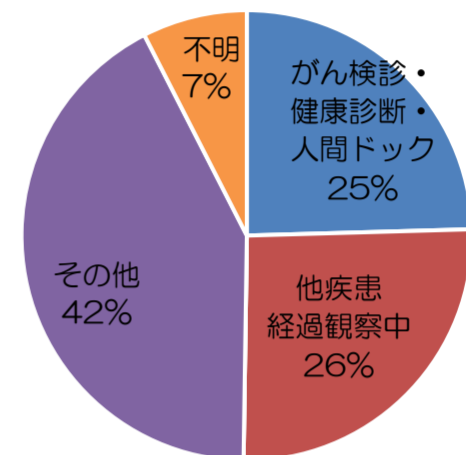
一大腸(2017)

大腸がんは、男性623件、女性440件で総数は1,063件、男性が女性の約1.5倍を示す。年齢階級別には、65歳以上が男女ともほぼ8割を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。ステージ別には、I期が最も多く、0期は全国が多いが、I期~IV期はすべて鳥取県が多い。ステージ別の治療方法は、0期では「内視鏡」、I期では「手術」、II期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、III期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、IV期では「手術」、「薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」「治療なし」が大半を占めるようになる。

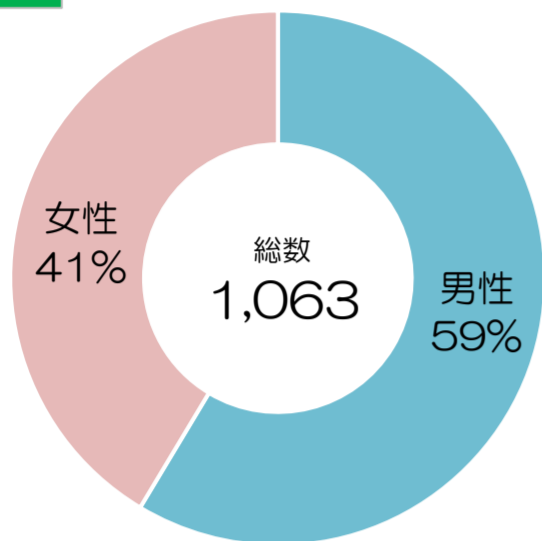
来院経路



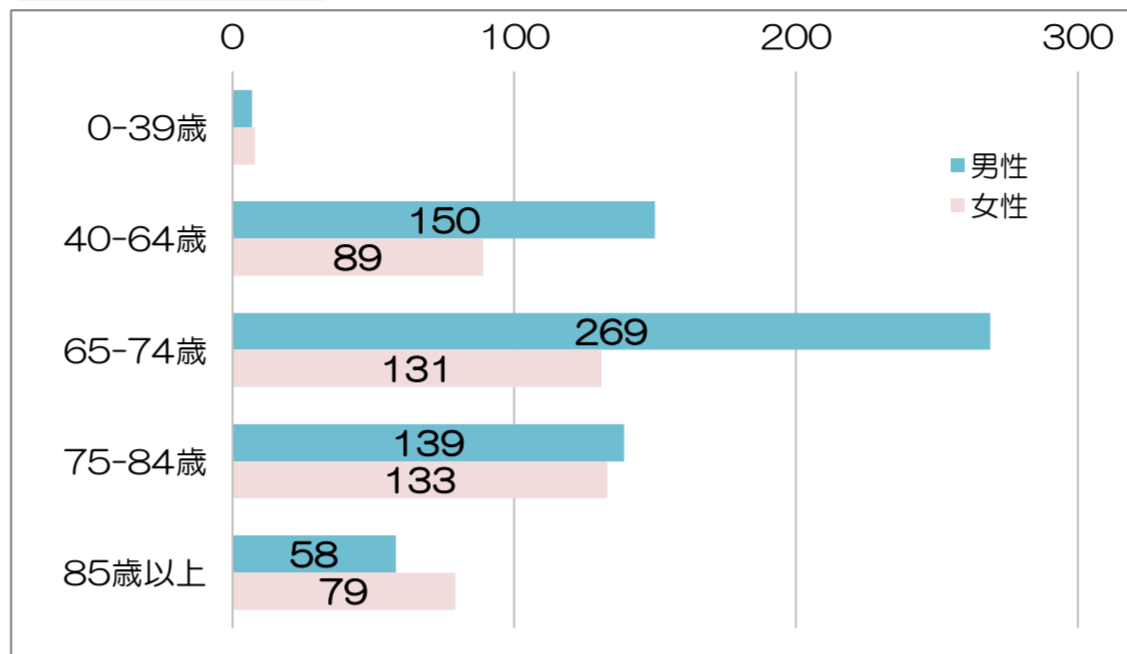
発見経緯



男女比



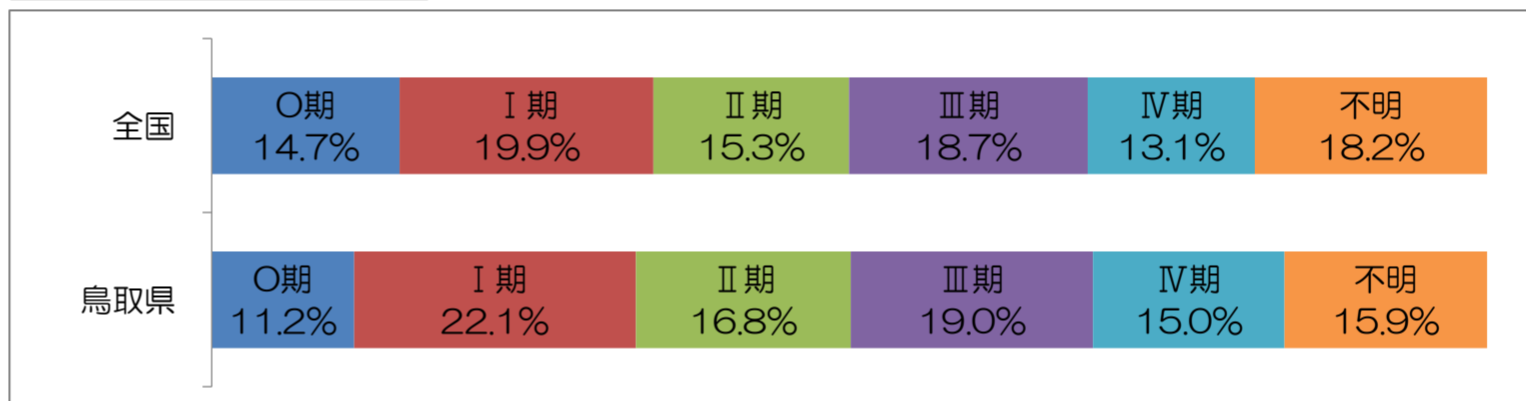
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

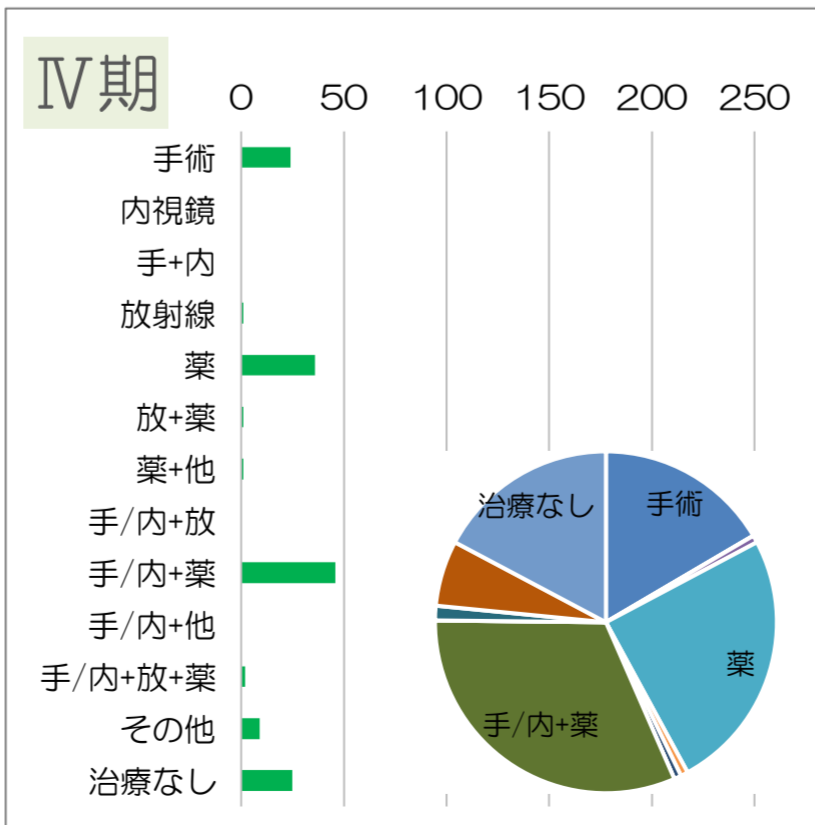
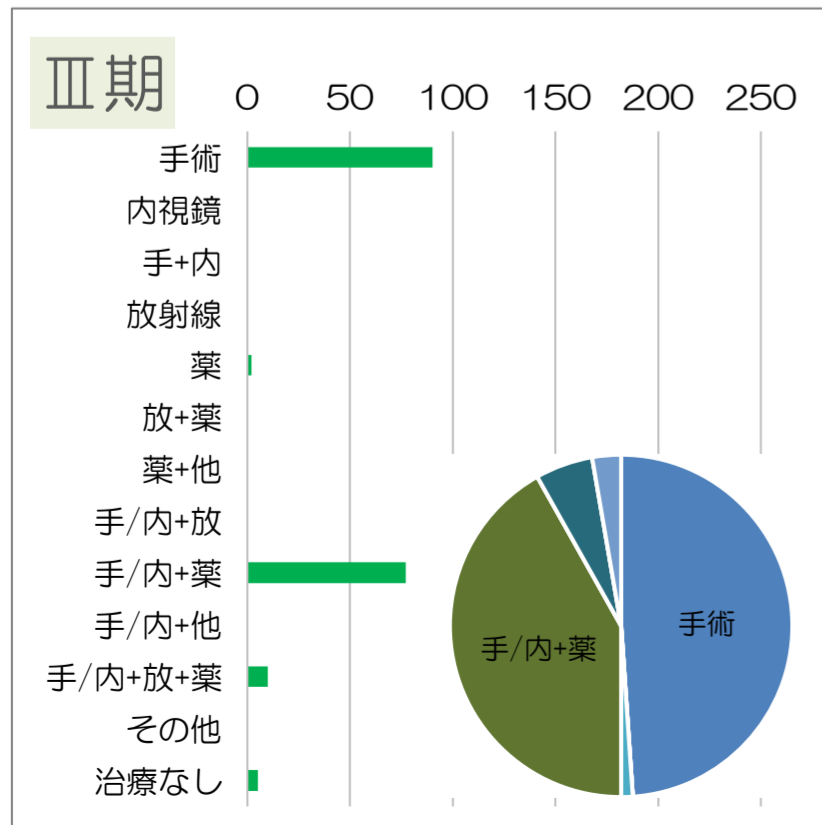
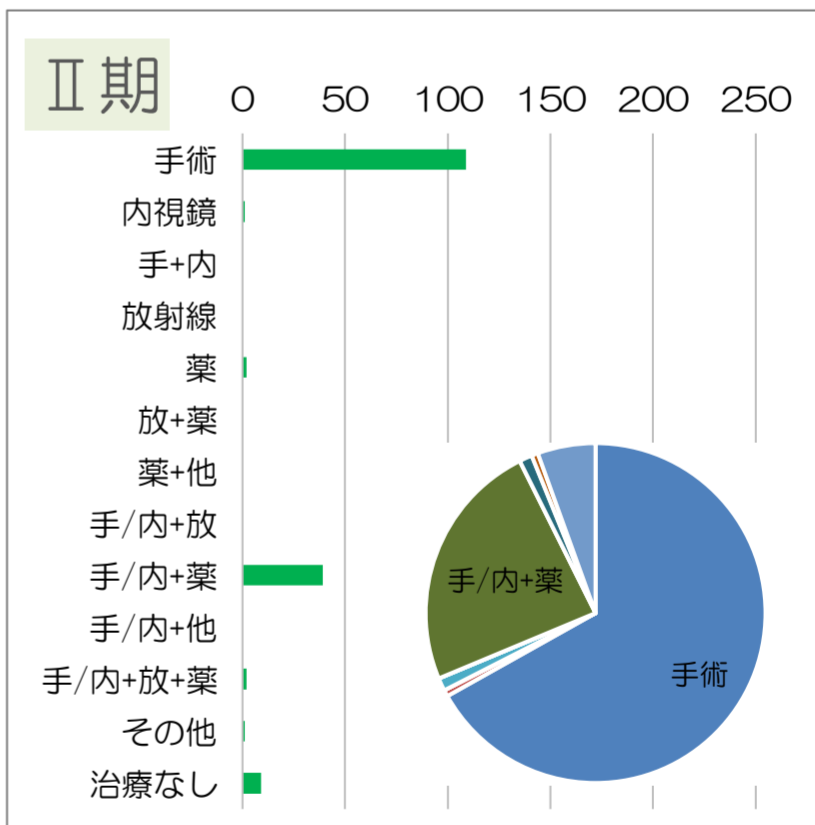
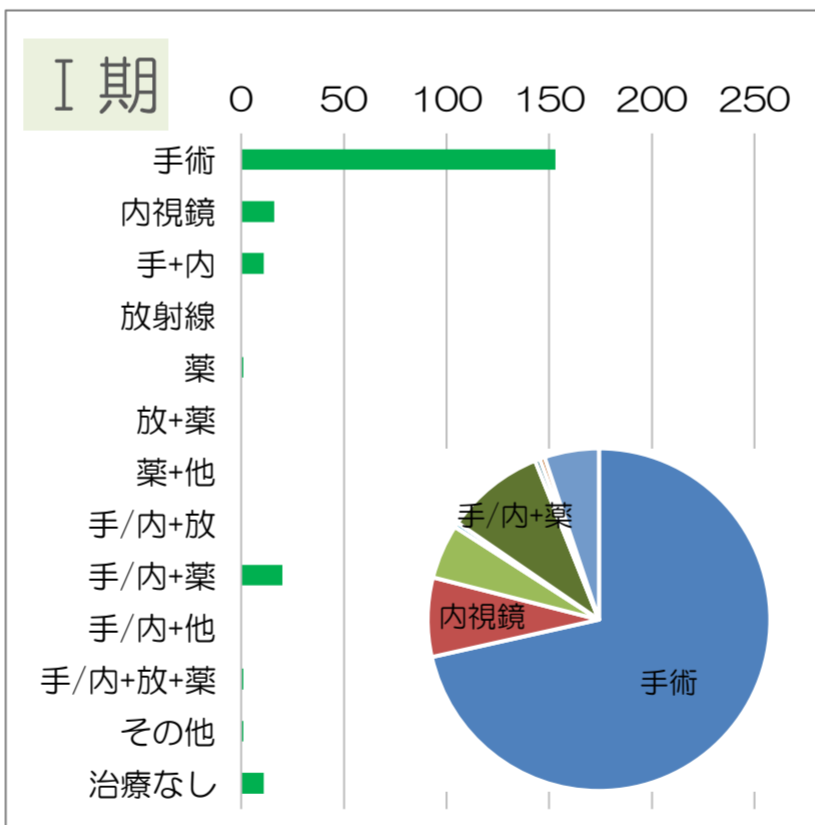
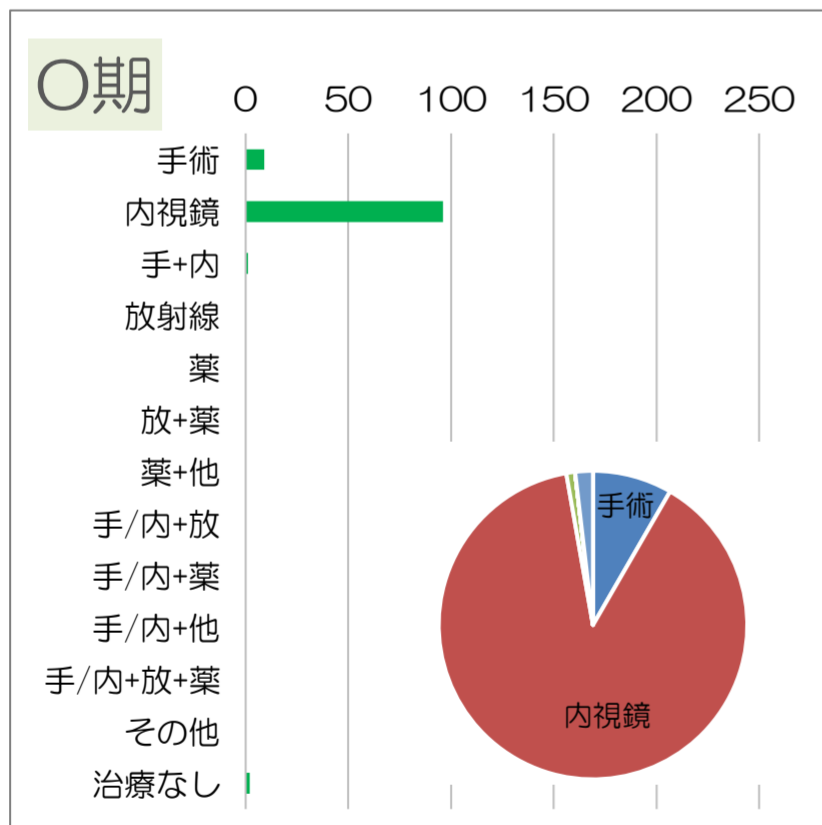
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
108	214	163	184	145	154	968

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

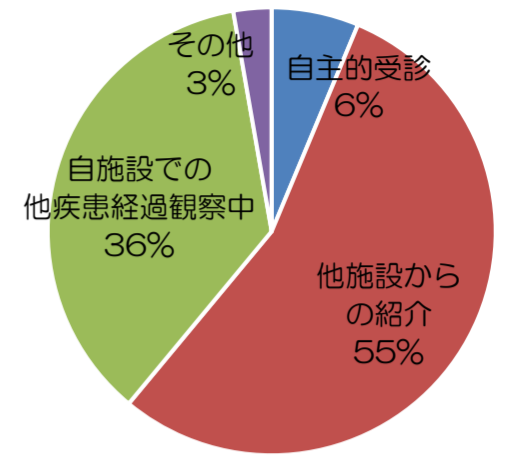
ステージ別治療方法



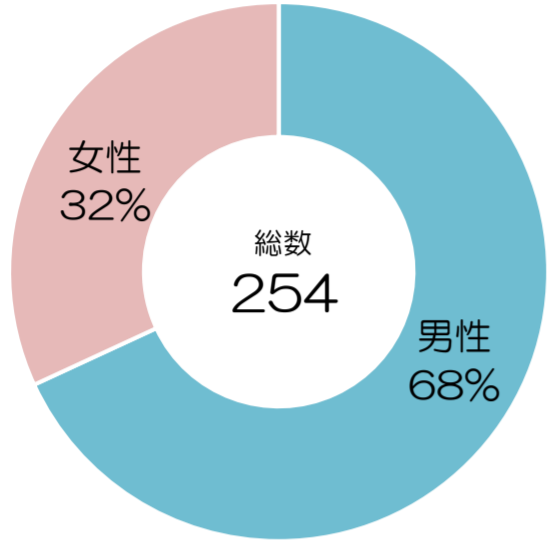
—肝臓(2017)—

肝臓がんは、男性173件、女性81件で総数は254件、男性が女性の2倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも84-86%を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、I期が40%前後で最も多く、その割合は全国が多いが、II期～IV期はすべて鳥取県が多い。

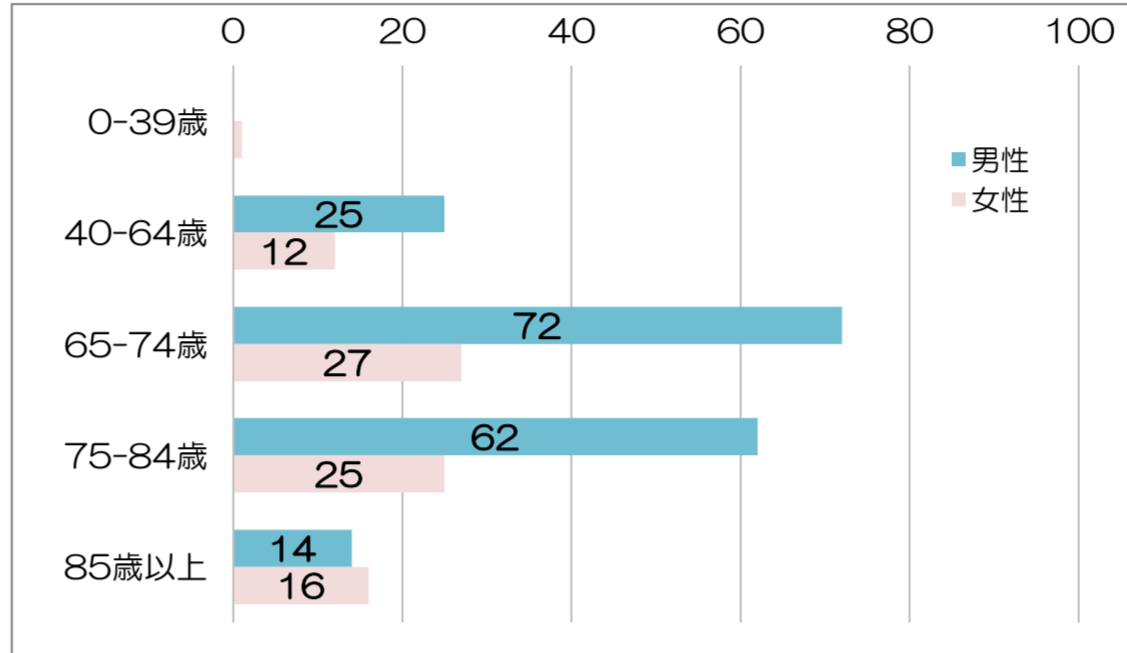
来院経路



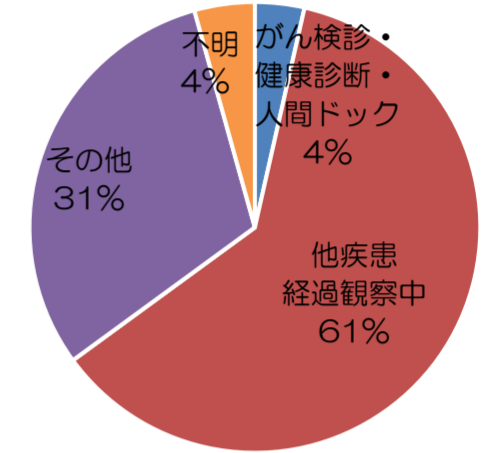
男女比



年齢別登録件数



発見経緯

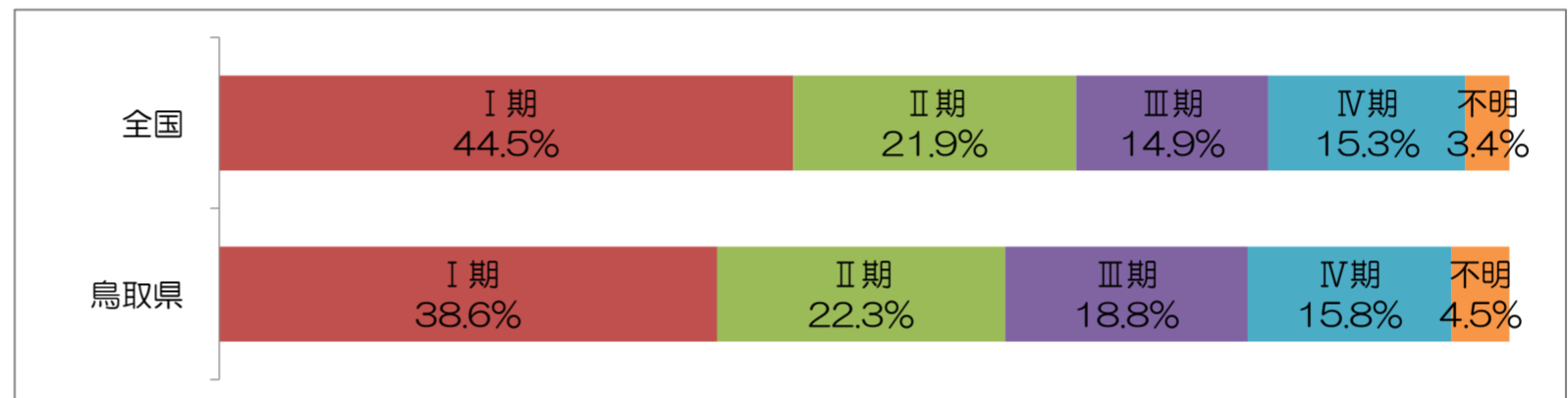


治療前ステージ別登録数

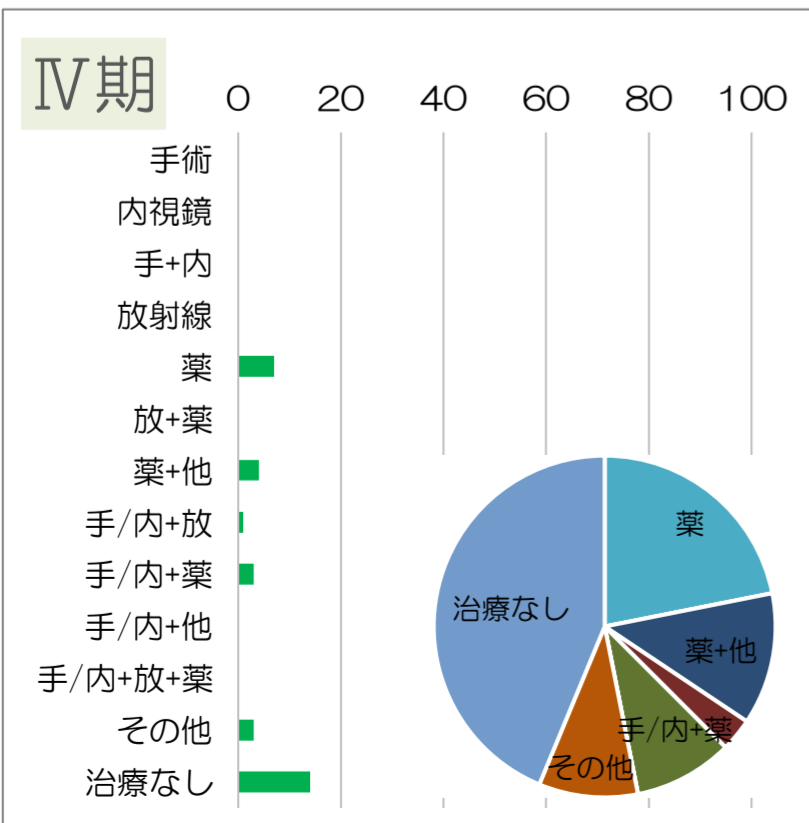
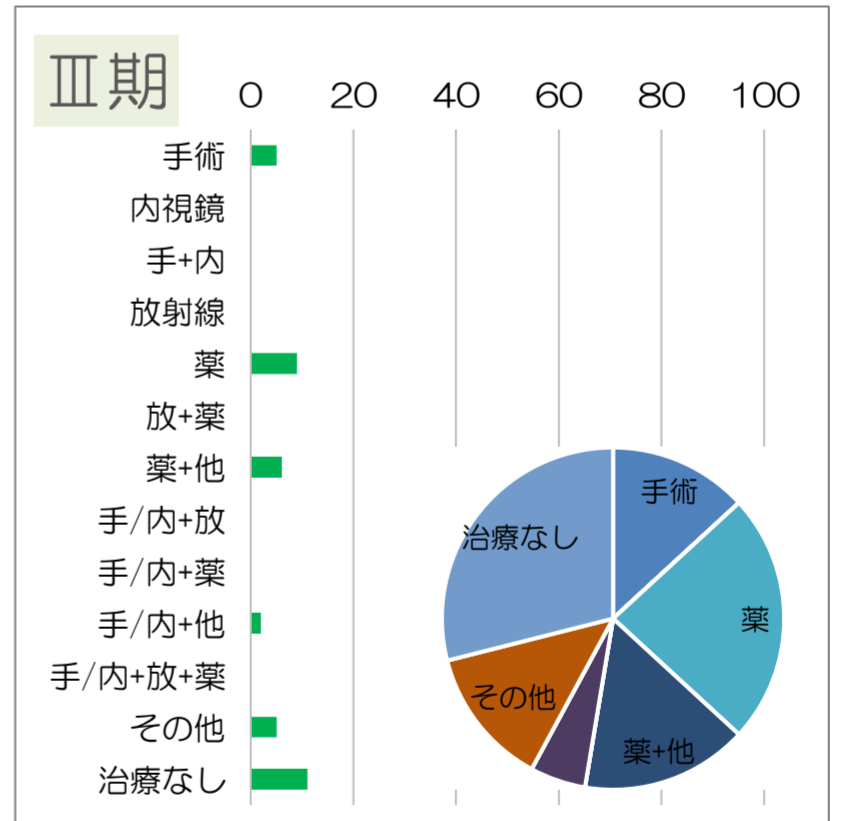
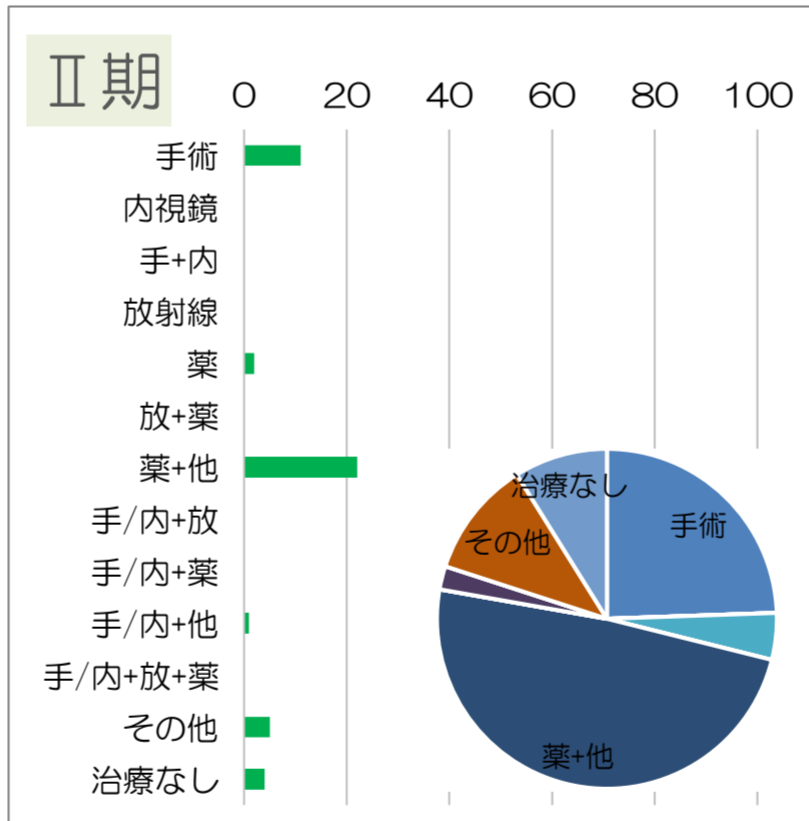
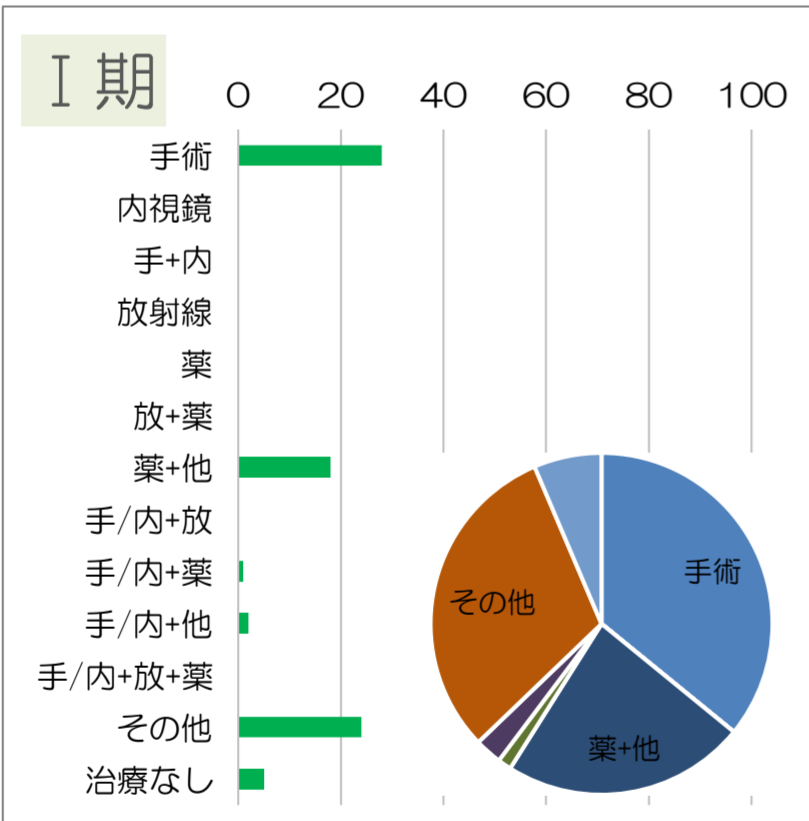
I期	II期	III期	IV期	不明	合計
78	45	38	32	(7-9)	202

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



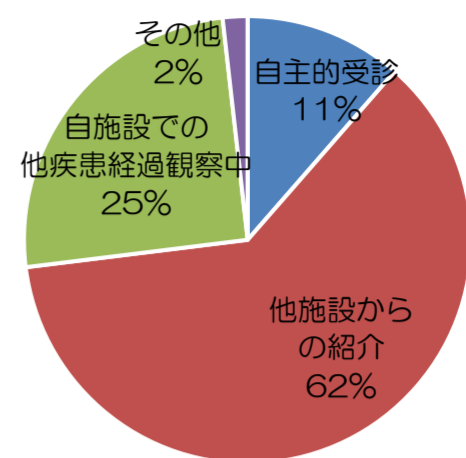
ステージ別治療方法



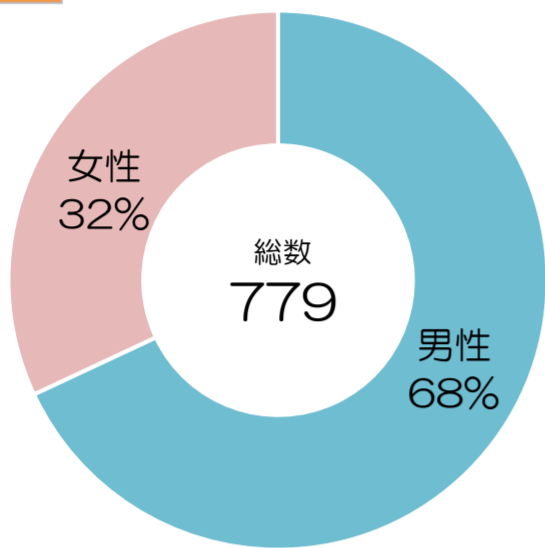
—肺(2017)—

肺がんは、男性530件、女性249件で総数は779件、男性が女性の2倍強を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも82%を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が41%、Ⅳ期が33%で最も多く、Ⅰ期～Ⅳ期ともすべて全国とほぼ同じ割合を示す。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「放射線」、Ⅲ期では「薬物療法」、「治療なし」、「放射線+薬物療法」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

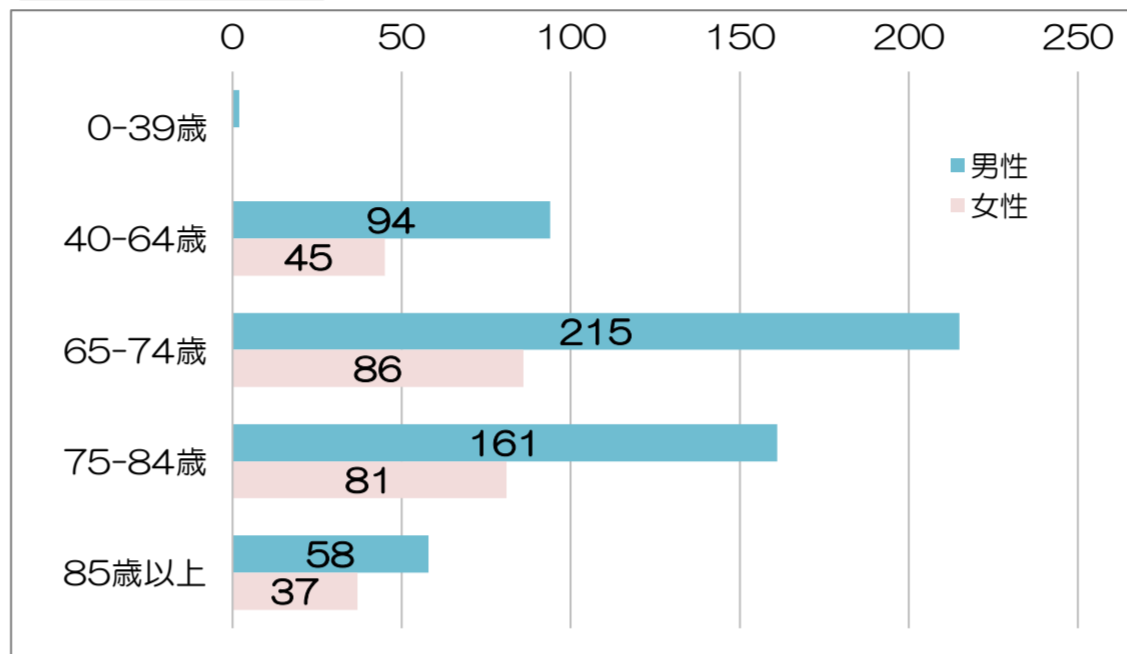
来院経路



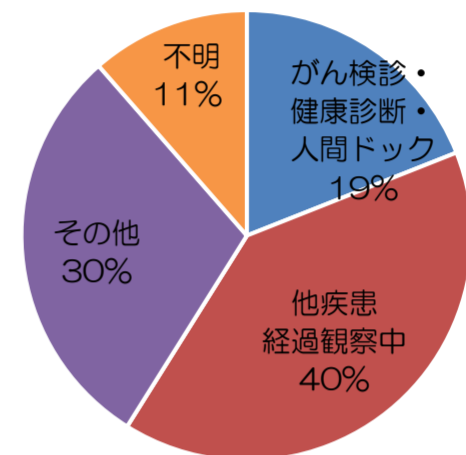
男女比



年齢別登録件数



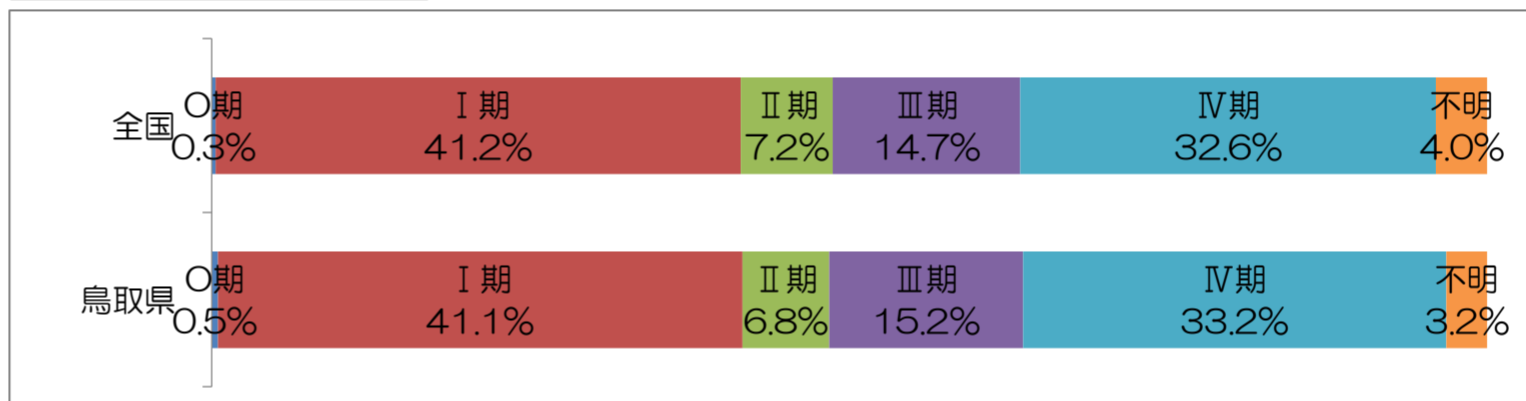
発見経緯



治療前ステージ別登録数

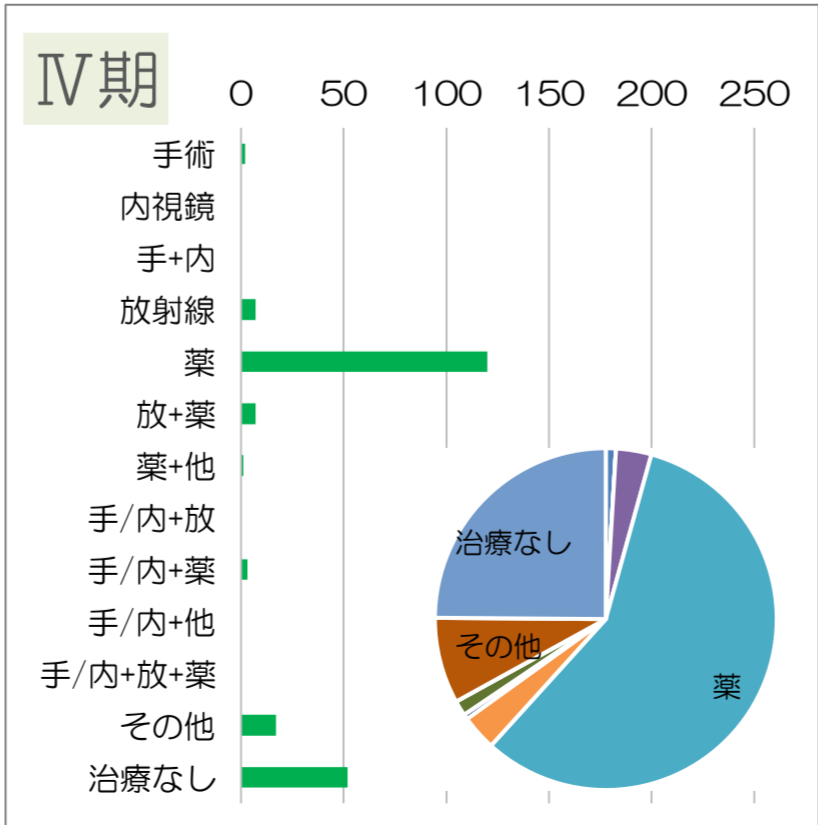
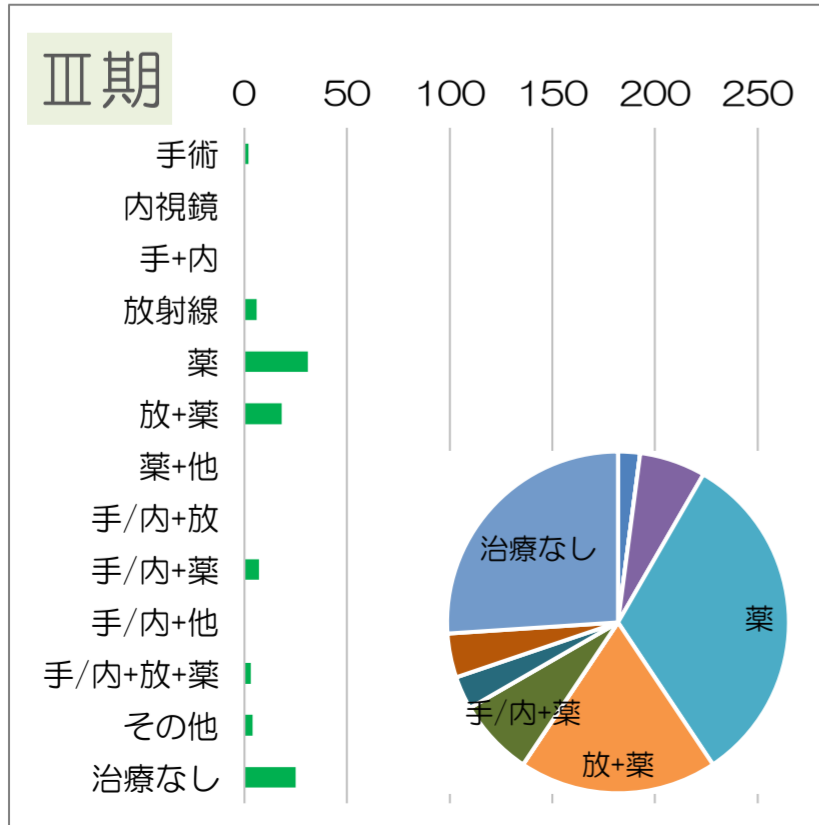
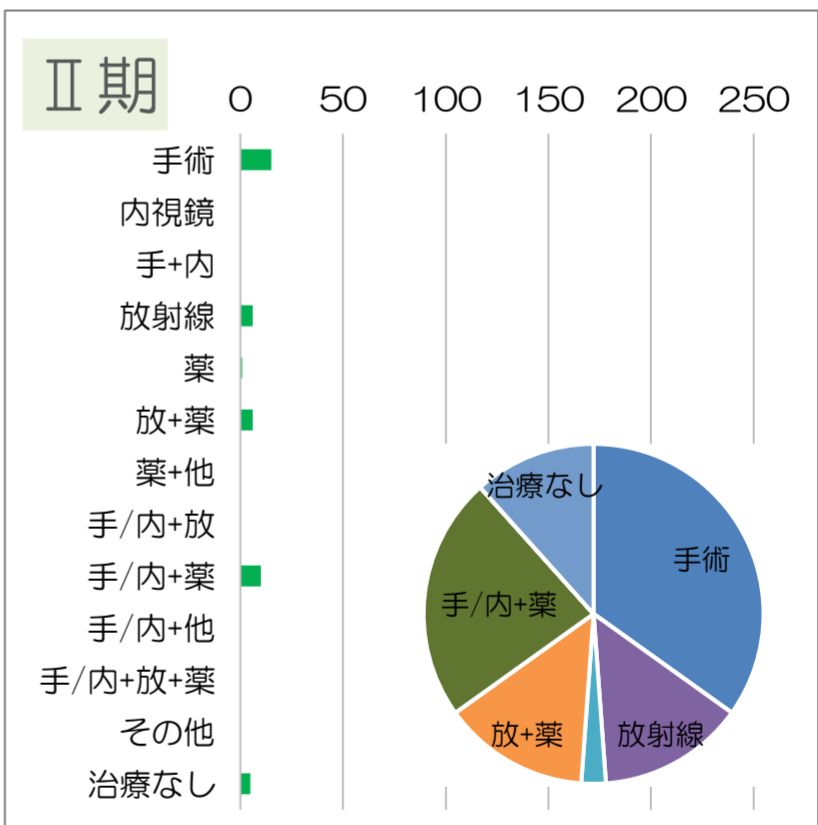
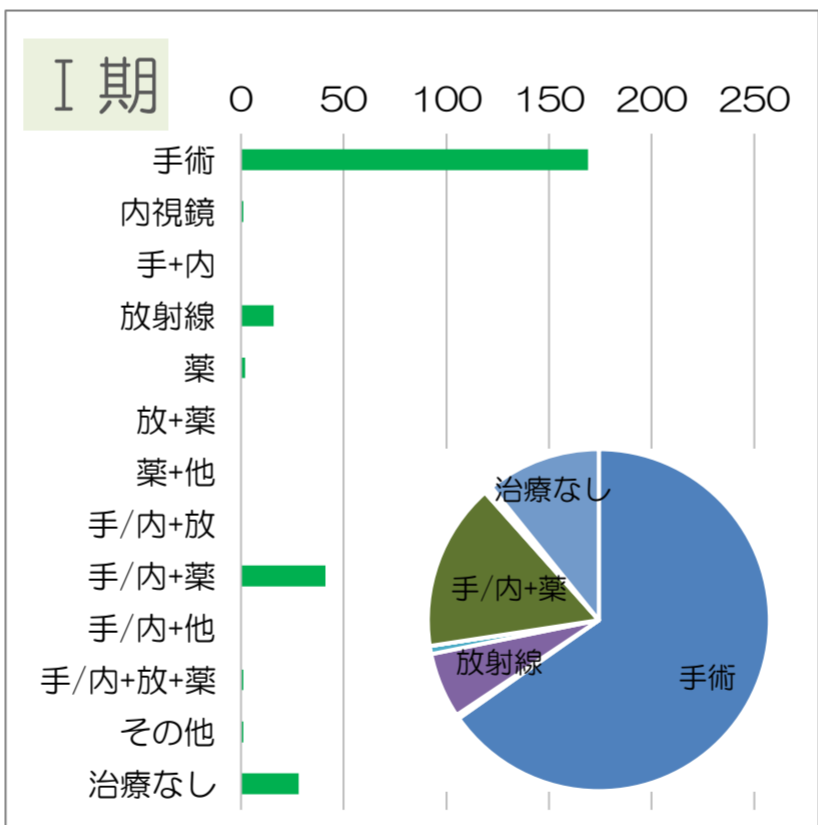
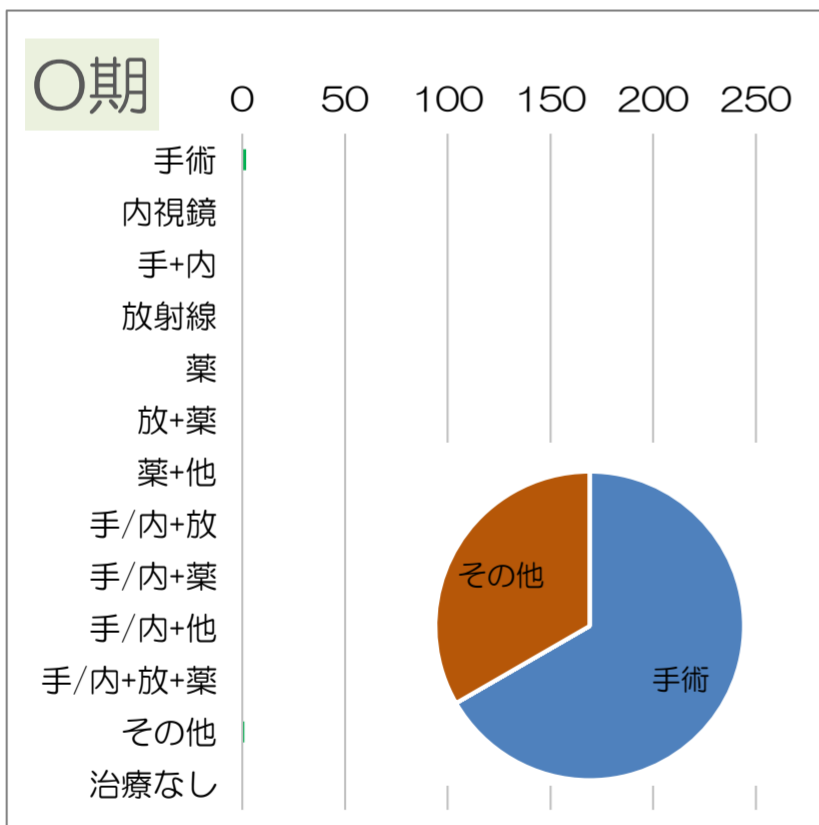
〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
(1-3)	259	43	96	209	20	630

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

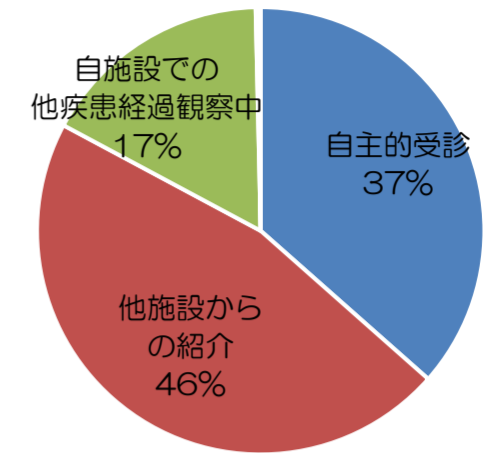
ステージ別治療方法



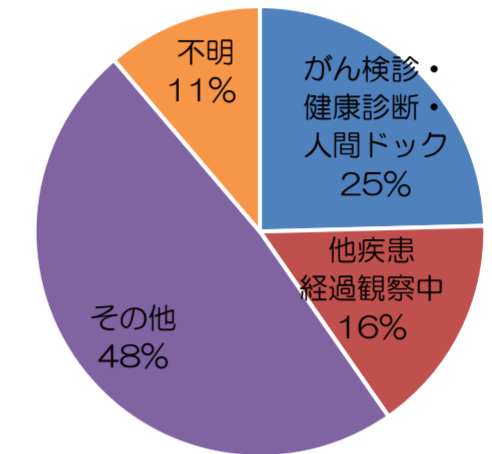
一乳房(2017)

乳がんは、総数は553件、男性はわずかに1%で、女性がほとんどを占める。
 年齢階級別には、40-64歳が46%でほぼ半数を占め、その後年齢とともに減少する。
 ステージ別には、I期が最も多く、0期は全国が多いが、I期~IV期はすべて鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術」、I期~III期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」が大半を占め、「手術」は少ない。IV期では「薬物療法」が半数以上を占め、それに「手術/内視鏡」および「放射線」との組合せで大半を占める。

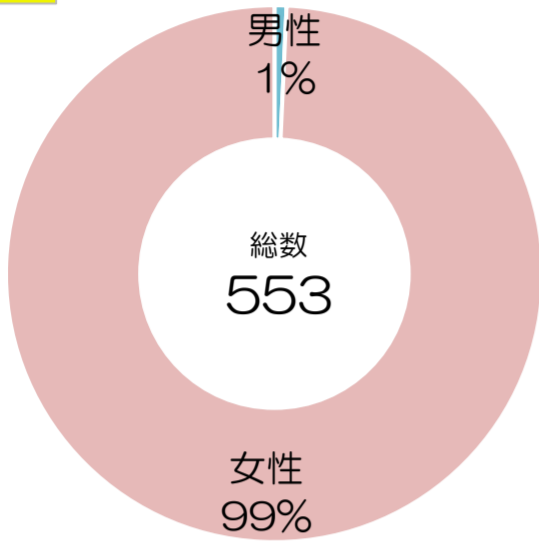
来院経路



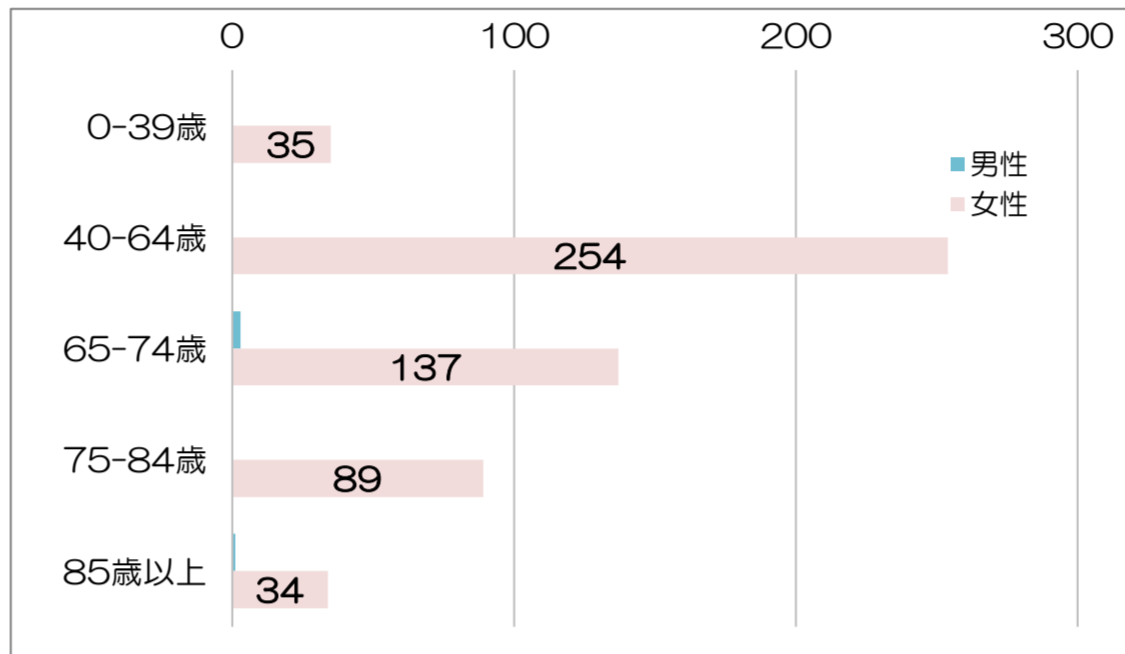
発見経緯



男女比



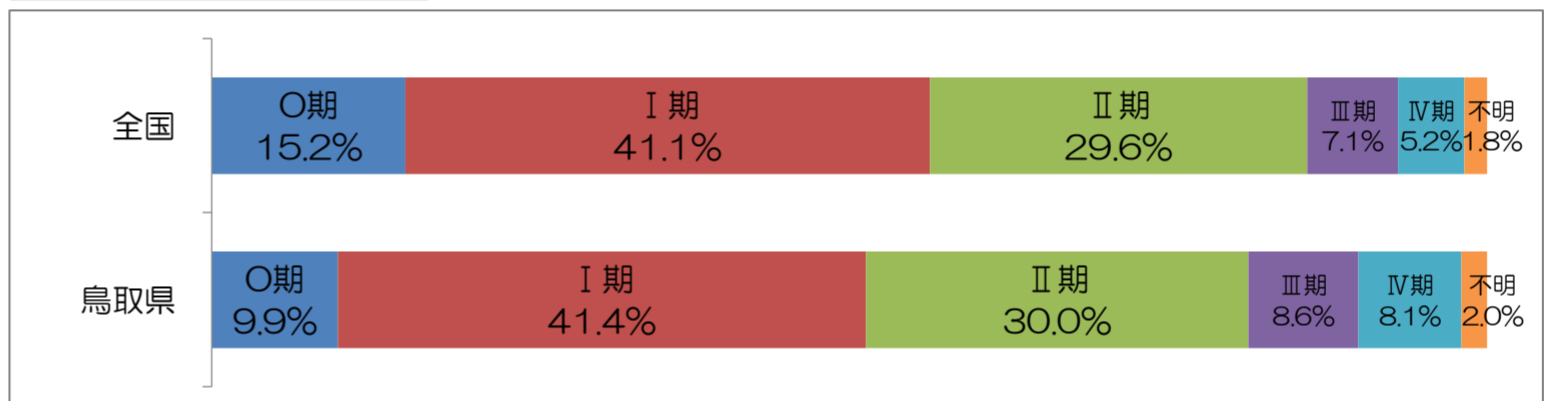
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

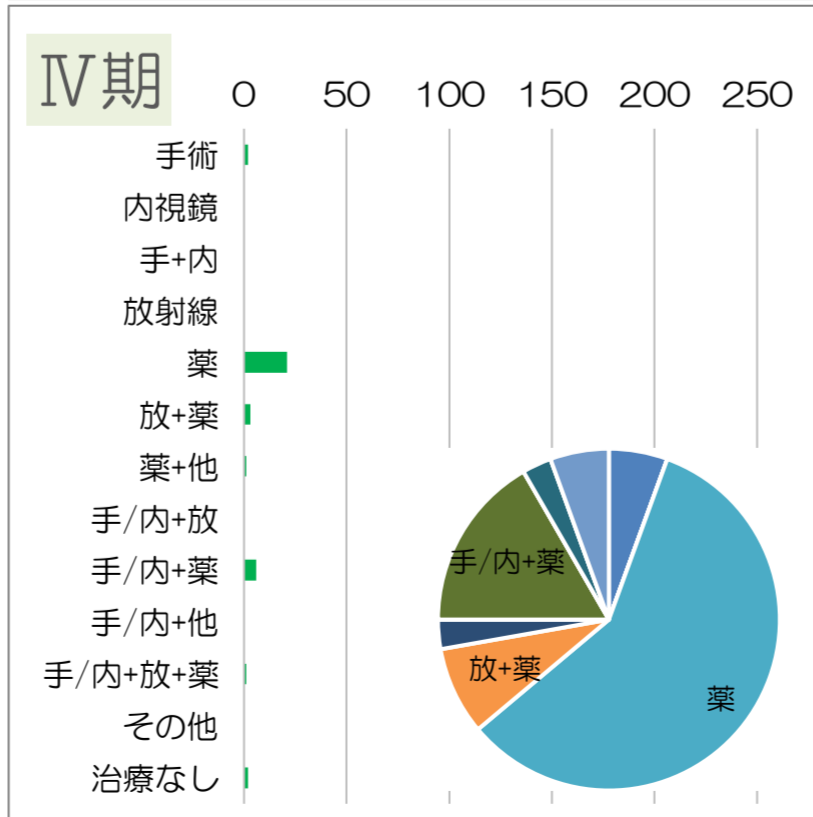
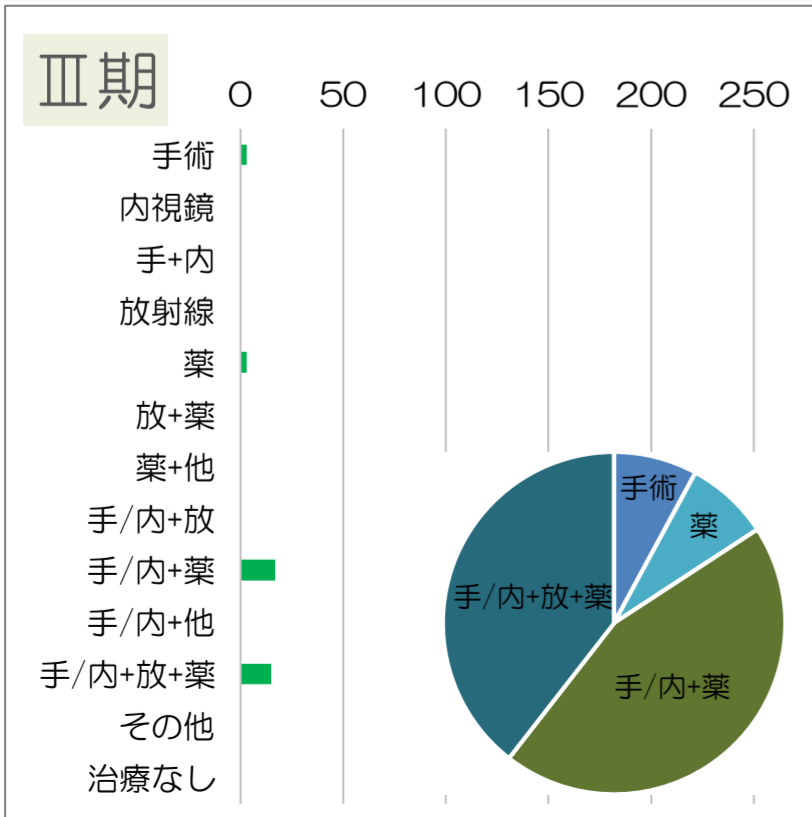
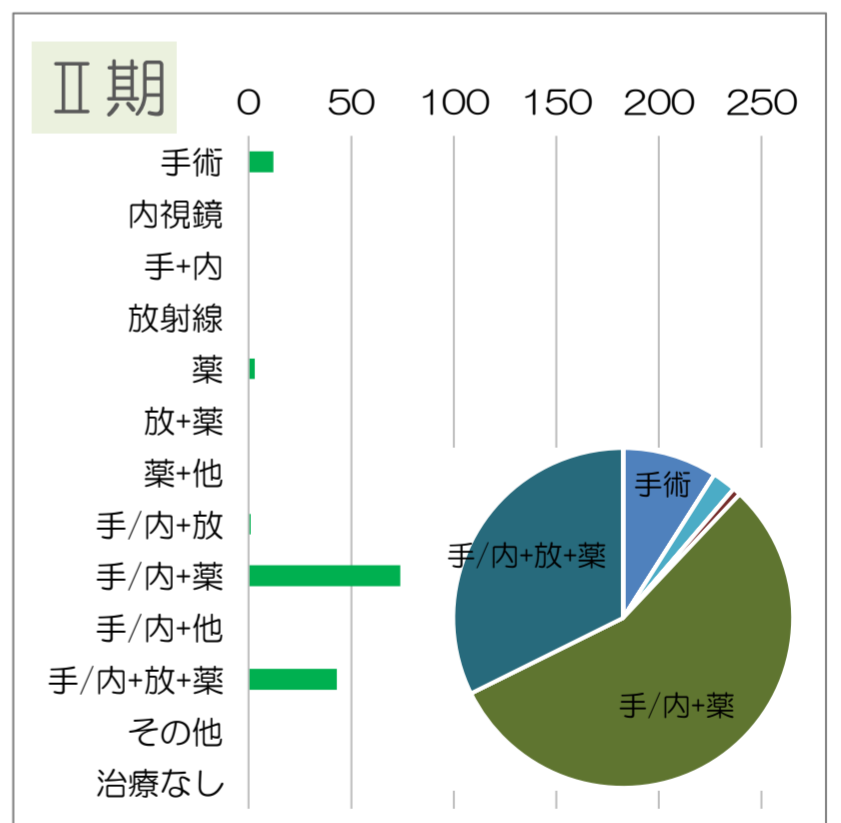
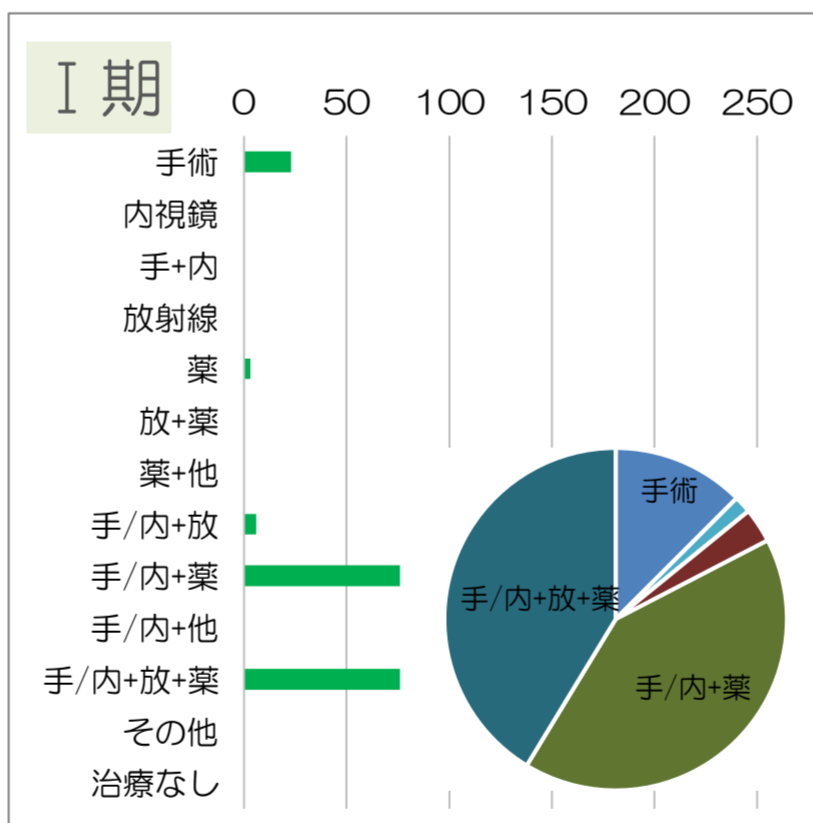
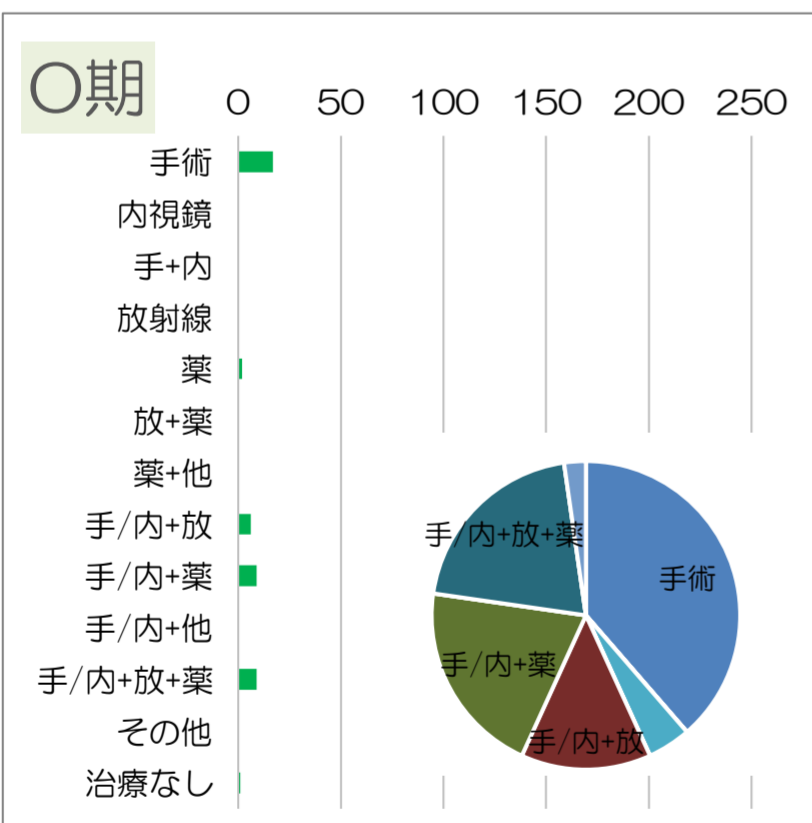
ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
登録数	44	184	133	38	36	(7-9)	444

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

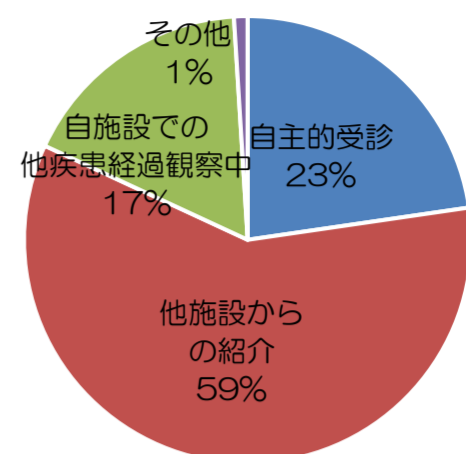
ステージ別治療方法



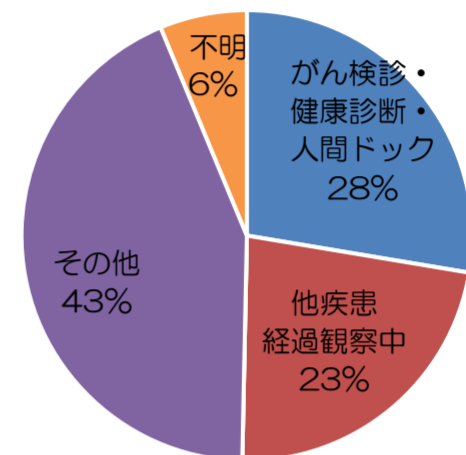
子宮(2017)

子宮がんは、総数304件、年齢階級別には、40-64歳が156件で最も多く、51%の半数を占めるが、40歳未満では71件の23.4%を示す。
 ステージ別には、子宮頸部は0期が最も多く、子宮体部はI期が最も多く、全国と近似する。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術」、I期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、II期では「放射線+薬物療法」がほぼ半数を占め、III期では、これに「手術/内視鏡+薬物療法」、「放射線」が加わり、さらに、IV期では「治療なし」と「薬物療法」が加わる。

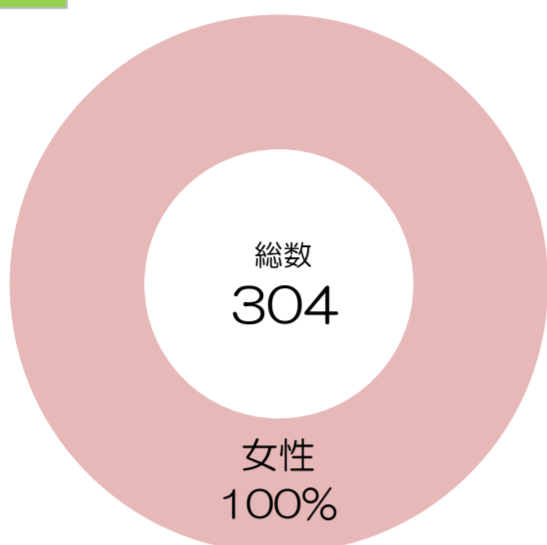
来院経路



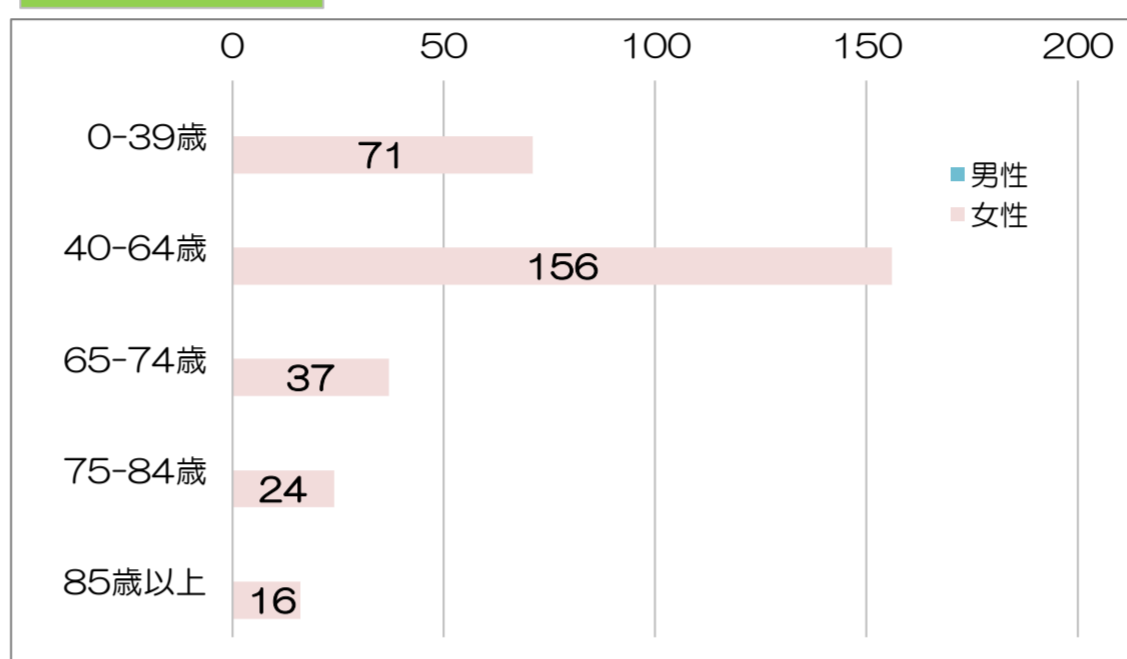
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

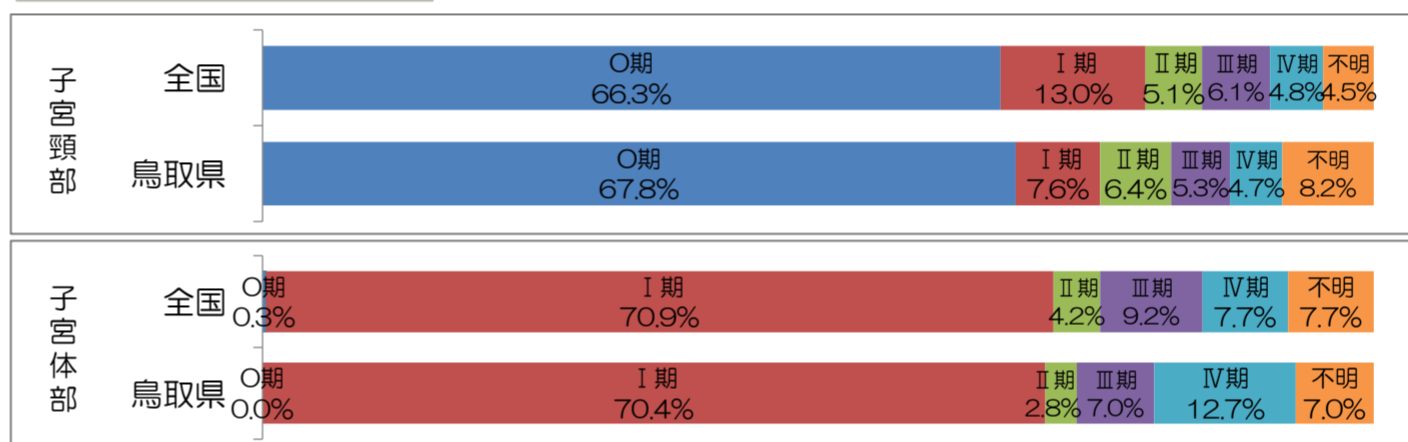


治療前ステージ別登録数

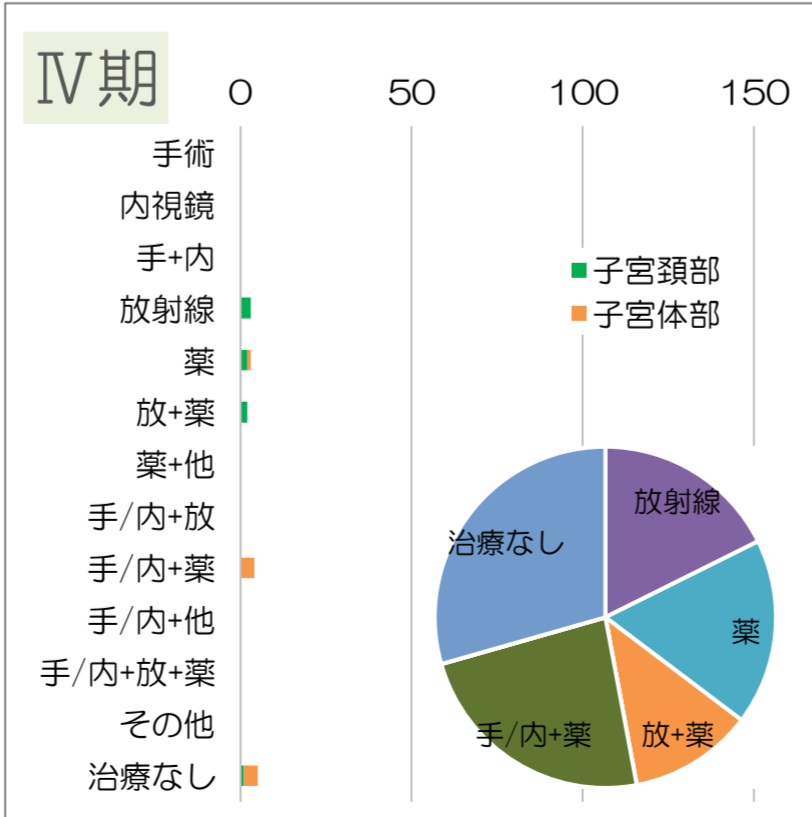
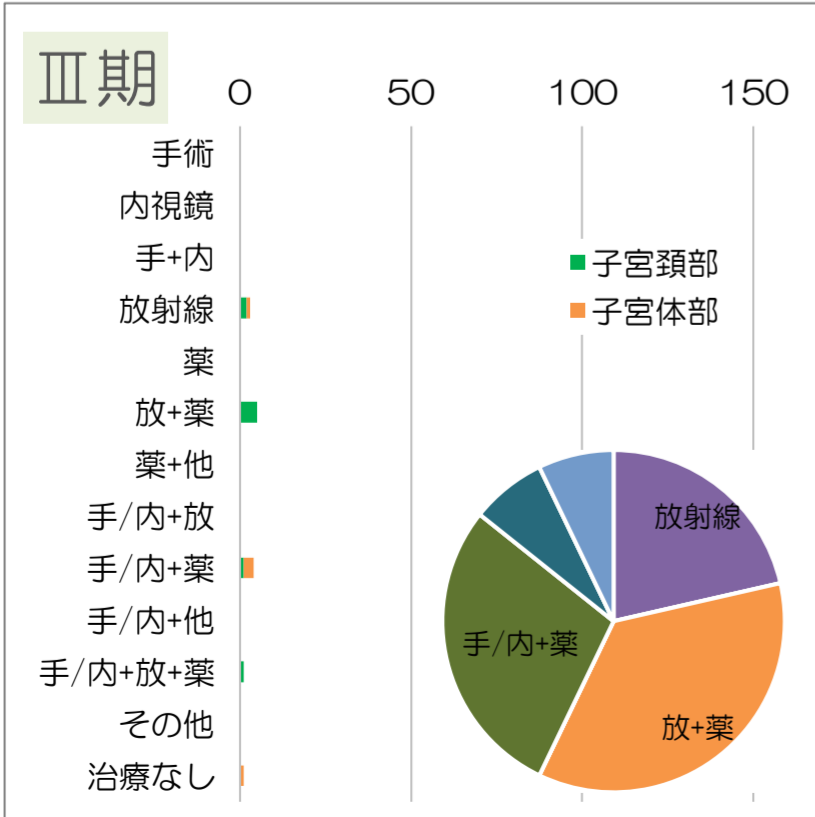
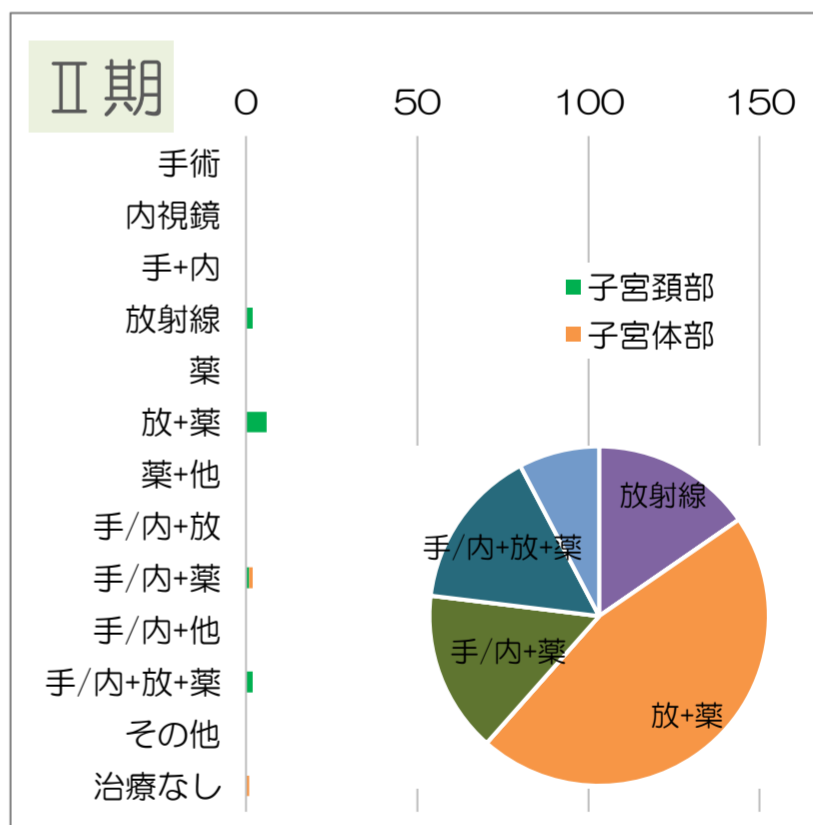
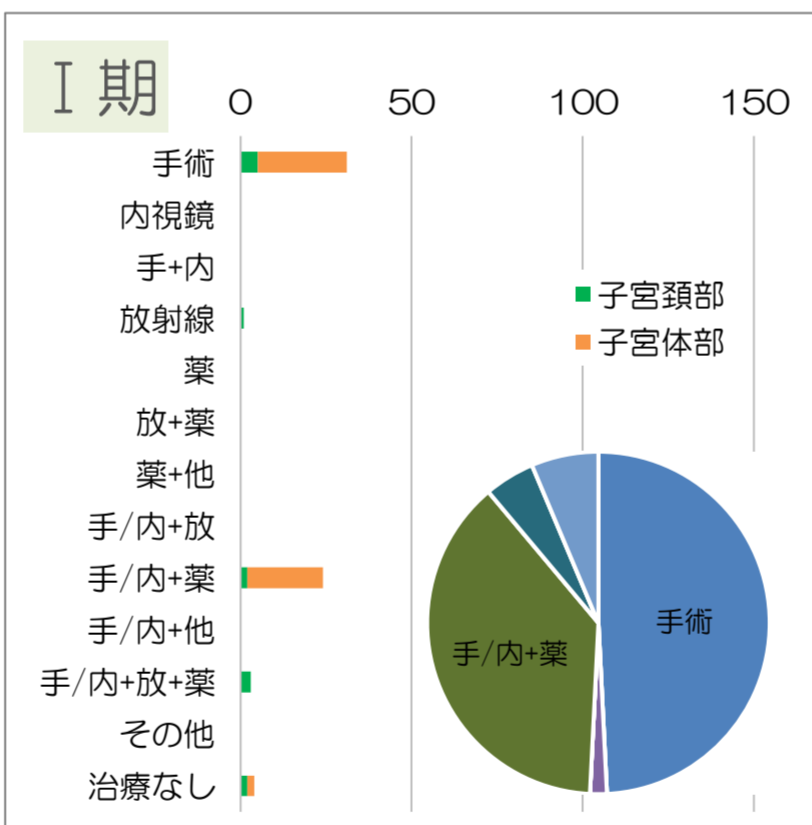
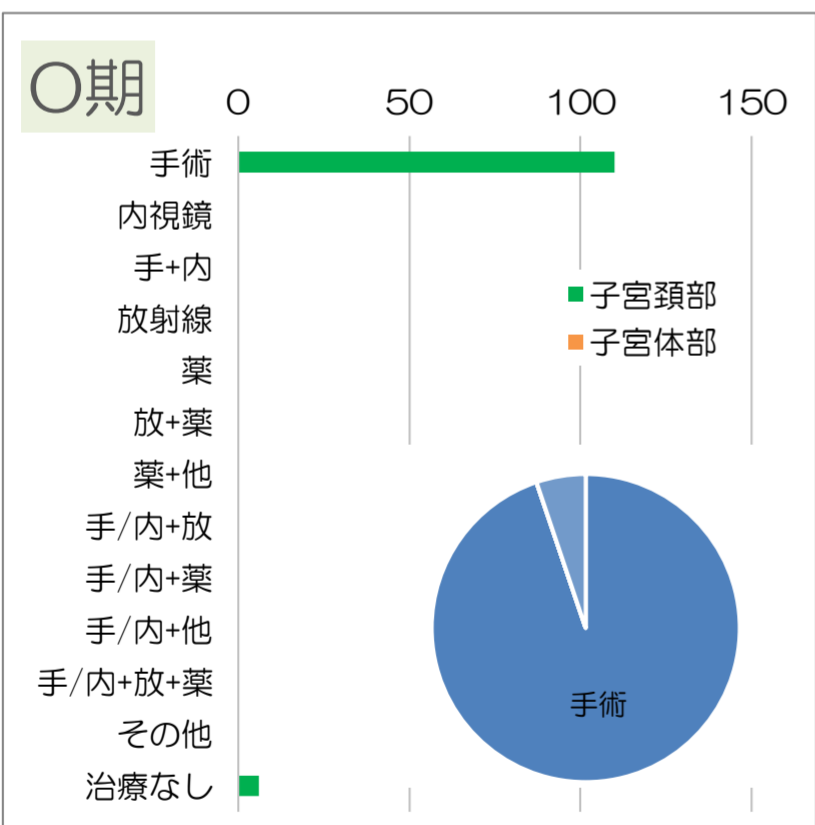
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
子宮頸部	116	13	11	(7-9)	(7-9)	14	171
子宮体部	-	50	(1-3)	(4-6)	(7-9)	(4-6)	71

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



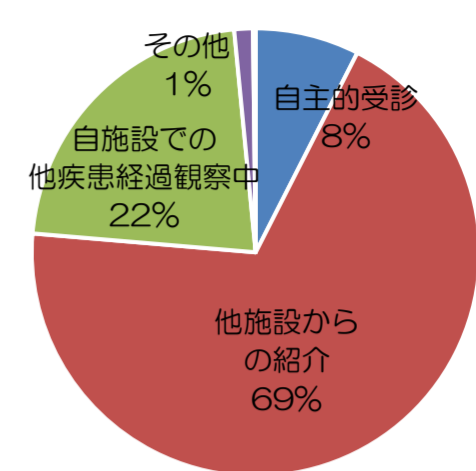
ステージ別治療方法



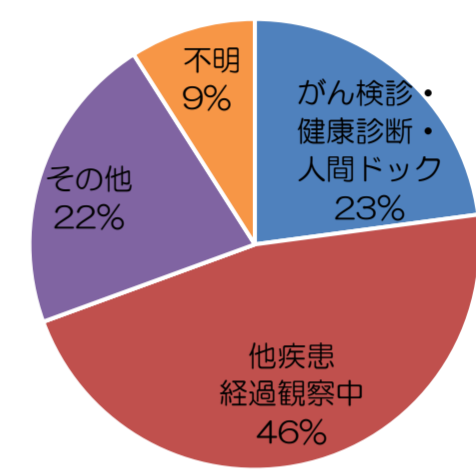
—前立腺(2017)—

前立腺がんは、総数520件、年齢階級別には、65-74歳は218件と最も多く、42%の半数を占め、65歳以上は概ね90%を示す。
 ステージ別には、I期が最も多いが、全国よりは少ない。II期～IV期はすべて鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、I期では「治療なし」、「薬物療法」、「手術」で3/4、これに「放射線+薬物療法」や「放射線」、「手術/内視鏡+薬物療法」が加わり多種多様、II期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、III期では、これに「放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」が加わり、IV期では治療のほとんどが「薬物療法」(88.5%)となる。

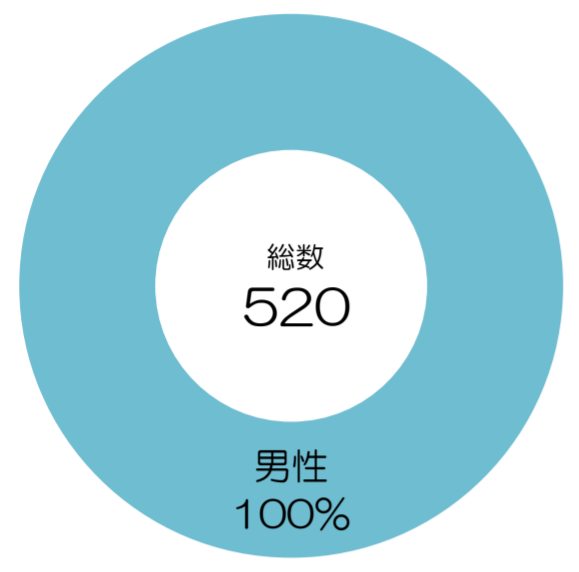
来院経路



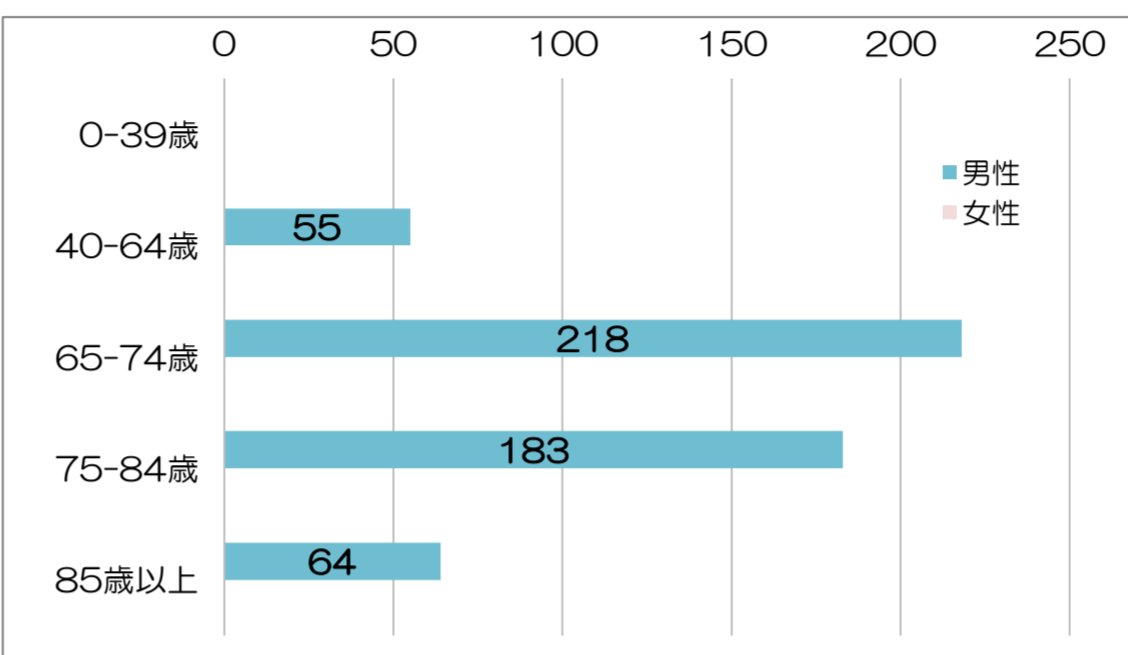
発見経緯



男女比



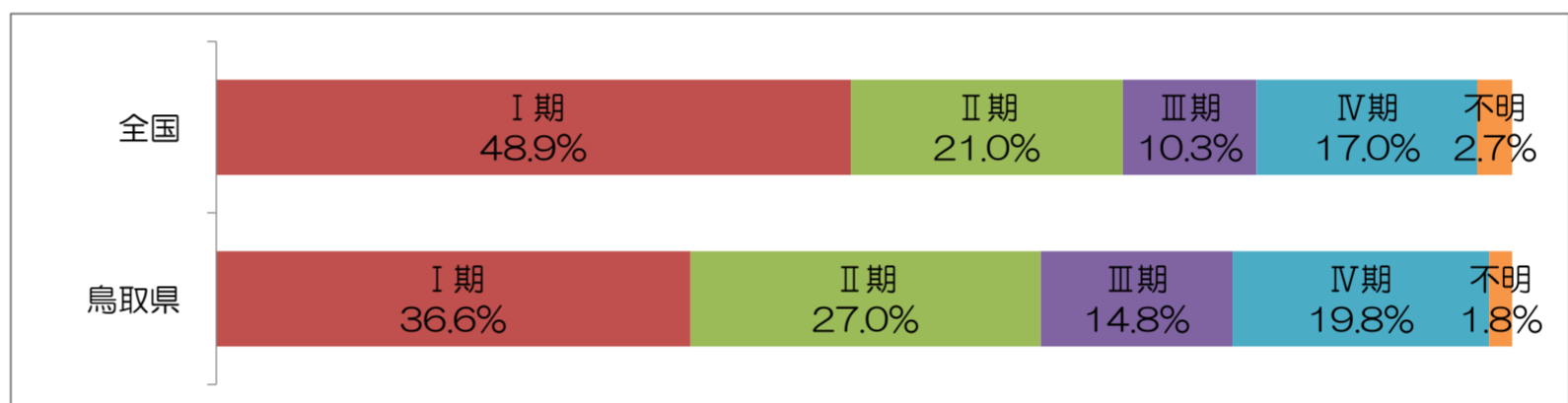
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

I期	II期	III期	IV期	不明	合計
144	106	58	78	(7-9)	393

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

ステージ別治療方法

